感染症定点観測調査報告書

(昭和57年)

昭和58年3月24日

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都衛生局公衆衛生部防疫結核課

東京都立図書館資料コード

3110140522

感染症予防検討委員会委員

委員長	木村三生夫	東海大学医学部小児科教授
副委員長	平山宗宏	東京大学医学部保健学科母子保健学教授
委員	重松逸造	国立公衆衛生院疫学部長
	今川八束	東京都立墨東病院感染症科部長
	山口剛	東京都衛生局主幹 （公衆衛生部防疫結核課長事務取扱）
	浦野隆	東京都済生会中央病院小児科医長
	南谷幹夫	東京都立駒込病院感染症科部長
	大橋誠	東京都立衛生研究所微生物部長
	近藤市雄	都医・公衆衛生委員会委員長
	藤田恒	〃　〃　委員
	松原貞一	〃　〃　〃
	竹内勤	東京眼科医会

感染症定点観測調査報告書

(昭和57年)

東京都立多摩図書館
1989 2.15
寄刊行物

ま　え　が　き

東京都における感染症サーベイランス事業は、昭和５２年１０月から東京都医師会の研究事業として、都公衆衛生部の協力のもとにはじめられましたが、最新の感染症情報を知る上で、有力な参考となると、ご好評をいただいているところであります。同じようなサーベイランス事業は、その後、全国各地で、それぞれの地域の特性に合わせて広く行われるようになりましたが、厚生省は、各地のデータをまとめて、全国的なレベルでサーベイランスシステムを整備する計画で、昭和５６年7月から、厚生省感染症サーベイランス事業を発足させました。全国的なデータや近県の情報を速かに入手できることは、われわれにとっても大いに参考となるところでもあり、都医師会としても、それに応じた形で、昭和５７年１月から、情報収集方式を若干手直しして、全国的なシステムに合わせて事業を継続することにいたしました。その結果、都の行政的なレベルでのサーベイランス事業と、都医師会の研究事業と、両者が協力して運営に当ることになりましたが、今後共、よろしくご協力、ご支援のほどお願いいたします。

ここに昭和５７年分のまとめ、すなわち、新しい体制になった第１年目のまとめをお届けいたしますが、これをより効果的に利用することについてもお考えいただければ幸いに存じます。関係各位のご協力に深く感謝いたします。

昭和５８年２月

木　村　三生夫

東京都感染症サーベイランスのまとめ

（昭和57年1月3日～昭和58年1月1日）

感染症サーベイランスの定義は、WHOによれば、「有効な対策をたてるために、感染症の分布、広がり及びそれに関連する要因を十分の正確さと完全さをもって継続的に調査し、かつ監視すること」とされている。

東京都感染症サーベイランス事業も、情報の収集、還元に留まらず、他の関連領域の情報も加えて感染症対策を考えるよう努力する必要がある。

昭和57年第1週から、全国システムに合わせる形で、定点観測機関を増やし、眼科定点、病院定点を新設し、検査定点による資料の収集を開始し、対象疾病の種類を増やし、年令区分の多少の変更を行ったが、運営方法は従来とほとんど変更はない。

1. 定点観測機関（第1表）

患者定点53、うち区部39、市郡部14、眼科定点6、病院定点6、によって実施した。ブロック別定点数は以下のごとくである。

ブロック	患者定点	眼科定点	病院定点
中央	千代田(2) 中央(1) 港(3) 文京(1) 台東(1) 計 8	文京 (1)	千代田(1) 港 (1) 文京 (1)
江東	墨田(2) 江東(1) 荒川(2) 足立(2) 葛飾(2) 江戸川(2) 計11	葛飾 (1)	墨田 (1)
城西	新宿(2) 目黒(1) 渋谷(2) 世田谷(2) 中野(1) 杉並(2) 計10	世田谷(1)	
城南	品川(1) 大田(3) 計 4	大田 (1)	大田 (1)
城北	北(1) 豊島(1) 板橋(2) 練馬(2) 計 6	豊島 (1)	板橋 (1)
区部計	39	5	6

ブロック	患　者　定　点	眼科定点	病院定点
市郡部	14 秋川、青梅、羽村、八王子、日野、 多摩、立川、小平、保谷、調布、 武蔵野、三鷹、府中、町田	八王子1	
計	53	6	6

2. 運営方法

各定点では、毎週、日曜日から土曜日までの対象疾病患者数を、性別、年令別に、所定のはがき調査表に記入して直ちに投函する。都衛生局防疫結核課で集計、木曜には結果を発送する。今年度よりコンピューターを導入し速やかな集計が図られている。

感染症予防検討委員会は、都担当者と、毎月1回、定例（第4木曜日）に1ヵ月分の内容を討議し、必要なコメントを加えている。

本年度の週数の数え方は、全国的な統一方式に従い、第1週57年1月3日－9日、第52週12月26日－58年1月1日となっている。

3. 対象疾病の種類および年令区分

厚生省サーベイランスの対象疾病と合わせるため、多少の変更が行われている。昨年度まで、東京都サーベイランスに含まれていたものは、そのまま継続し（麻疹、水痘、ムンプス、突発性発疹、百日咳、伝染性紅斑、風疹、溶連菌感染症）、これまで胃腸症状を主徴とする感冒様疾患は、全国方式に合わせる形として、乳児嘔吐下痢症と、その他の感染性下痢症とに変更した。

ここで乳児下痢症というのは、従来、小児仮性コレラ、白色便性下痢症、感冒性消化不良症などの名称でとらえられていたもので、現在ではロタウイルスによることが明らかとなった冬期に多い乳児嘔吐下痢症と考えられるものとされた。乳児というのは、かならずしも1才未満と限定するものではなく、通常は2才以

下、時によってはそれ以上のものも含めてもよいという考えである。それ以外の感染性下痢症は、字句の通り、感染性が想定されるもので、ウイルス性もしくは細菌性のものを含んでよい。これが設けられた理由は、病原検査をすすめて、その実態を明らかにして行こうとするねらいであり、今後の検査の充実の期待をこめて挙げられた項目である。患者定点対象疾病として、ヘルパンギーナ、異型肺炎、咽頭結膜熱が加えられたが、これらは、本サーベイランスでも、その他の疾病として良く報告されていたものである。

眼科定点の対象疾病として、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎があげられているが、咽頭結膜熱は、患者定点と眼科定点の両方から報告される形となっている点に注意されたい。実際には、その大部分は患者定点からの報告である。

病院定点では、髄膜炎（無菌性および細菌性）と脳・脊髄炎が対象疾病であるが、その他の感染症の情報も月報の形で報告される形となっている。

昨年度まで本サーベイランスに含まれていたが、厚生省サーベイランスの対象疾病に含まれていないものとして、インフルエンザ様疾患、不明発疹症、川崎病があるが、これらは、そのまま継続することとした。

年令区分は、厚生省サーベイランスでは、０才、１－４才、５－９才、１０－１４才、１５才以上と区分されているので、その集計に合わせやすくするため、従来の６才以上の分を、６－７才、８－９才、１０－１１才、１２－１４才、１５才以上とした。性別は、これまでの調査で、ほとんど男女差はないことが明らかとなっているので、今年以降は、性別報告は行わないこととした。性別は、全国調査でも行われていない。

4. 疾病情報の概要（第２表、第３表）

報告数は総計５５,０２４で、昨年を約7,０００件上廻っている。患者定点においては、休診を差引いた報告定点数は延2,7４４で、週平均５２.８定点からの報告が寄せられたことになる。眼科定点(6)の休診は１か所が１週あっただけで、病院定点からの報告は欠けた週はなかった。

昭和５７年に目立った流行のあったのは、風疹、手足口病で、全国的な流行であった。インフルエンザは、Ｂ型による中等度の流行であった。川崎病は１２２

例で4年ぶりの全国流行の影響である。

麻疹は昭和５６年に比べ約$\frac{1}{2}$の発生であり、水痘も少ない年に属している。ムンプスもやゝ少ない年ということになる。百日咳はあまり変化はないが、前年よりやゝ多い印象であった。伝染性紅斑も、昭和５６年の全国的な流行のあと減少している。その他は、特に目立った変化はない。

その他の疾病は、昨年まで報告されていた疾病の多くが対象疾病にあげられたため、８８件と減少した。その内訳は以下のごとくである。

その他の疾病の内訳

アフタ性口内炎３３、ヘルペス口内炎3、口内炎１、帯状疱疹１２、ブ菌感染症6、ＳＳＳＳ１、伝染性単核症１、トリパノゾーマ症１、夏かぜ１８、流行性嘔吐症６、白色便性下痢３、キヤンピロ腸炎１、食中毒１、（脳室内出血１）

5. 伝染病発生状況（第４表，第５表）

本年度の都内の発生総数は５９５例で、前年の７４９例よりも少ない。多い順には、赤痢３３０、しょう紅熱１８６、腸チフス、パラチフス計６７、の順である。しょう紅熱は前年の３４４例より、１８６例に低下しており、これが、総数の減少に関連している。コレラは、前年４例、本年７例と、毎年のように侵入している。日本脳炎は真性１、疑似症１であったが、５７年のブタの汚染状況からみると、北海道のほか数県を除いて、全国的に、ほとんどが５０％以上の抗体保有となったというように、広範な汚染が生じた。

6. ブロック別発生状況（第６表，第７表）

ブロック別の集計は、毎月、都医ニュースに掲載されているが、ここに、１年間の集計を示す。ブロック別の流行の差を知るために１定点当りの報告数（第７表）を示したが、判断は難かしい。数字の上からだけみると、市町村部の方が区部よりも麻疹が多いようであり、インフルエンザ、風疹もやゝ多い傾向があるが、百日咳、乳児嘔吐下痢症、ムンプスなどは、それほどの相異はない、区部のなかでは、百日咳が城西、城南ブロックでやゝ少なく、ムンプスは城北に多く、イン

フルエンザは城西、城北に多く、風疹は城南にやゝ少ない。

7. 年度別報告数の推移（第8表，第1図，第2図）

昭和53年より57年まで5年間の疾病別報告数の推移をみた。年度により、定点数が異なるため、1定点当り年間報告数であらわした（第8表）。乳児嘔吐下痢症は、53－56年までは、その他の疾病として白色便性下痢症などとして、報告された数字を（ ）内に示したが、実際上は、胃腸症状を主徴とする感冒様疾患の項の中に報告されたものが大部分であろう。57年は全国的に合わせて、乳児嘔吐下痢症とその他の感染性下痢症に分けてあるが、この両者を合計すれば、56年までの胃腸症状を主徴とする感冒様疾患の数に匹敵する。

疾病ごとの推移を第1図に示した。

水痘は1年おきに多い年と少ない年があり、かなり明瞭な消長がみられる。ムンプスもこれと似た傾向はあるものの、これまでの発生状況のカーブをみた限りでは、あまり、はっきりした傾向はつかまえ難かった。そこで、1定点当り、月別平均報告数を基に、その消長をみると（第2図）、53－57年の5年間のうちに、54年前半と56年なかばから後半にかけてピークがあり、53年はじめ、55年に谷があり、1年半～2年の周期で大きく動いていることが分る。この動きからみれば、どの季節に多いということはきめ難い。

定点からの報告数が、都全体の発生数のうち、どの程度の率を占めるかについて、昨年は水痘の53－56年4年間の1定点当り年間平均報告数92.0を基に計算したが、今回の53－57年の5年間の水痘平均報告数87.6を基に計算すると、1才当り小児人口を158,000人、これが水痘に罹患して、その85％の134,000人が医療機関を受診したという仮定でみると、87.6人×53定点÷134,000人×100＝3.5％という数字が得られる。

8. 各疾病別の動向

(1) 麻疹　第3図－(1)　第4図－(1)

麻疹の1定点当り年間報告数は、昭和53年62.5、54年24.1、55年8.1、56年27.4、57年10.7と、53年の定期接種開始以来著明に減少し

ている。これを水痘の発生数に対する比率でみると、５年間の平均水痘年間発生数（８７.６）を１００としてそれに対する比率は、５３年７１、５４年２７、５５年９、５６年３１、５７年１２となる。このことは昭和５７年の麻疹は、１２％くらいまで減少しているとみることができよう。

都内の麻疹ワクチン接種状況は、昭和５６年度（５６年４月～５７年３月）の接種数総計は１０８,９９４で対象児約１３７,０００人の７９.５％に当る。~~３－５~~区部は７２,５２２、市町村部は３６,４７２で人口と比べると、区部、市町村部で接種に大きな差異はみられていない。なお、この接種例のうち健康被害として申請のあったものは熱性けいれんが２例あったのみである。

麻疹の罹患年令は、１才にピークがあり、４－５才は減るが、小学校低学年にはまだ発生がみられている。０才も総数の９％を占めている。この抑制のためには、とりあえずは接種率の向上を図るということであろう。（各疾病の年令別集計は第９表に示した。）

⑵ **水痘**　第３図－(2)、第４図－(2)

水痘の発生は１年おきに多い年と少ない年が交互し、５７年は少ない方の年に属している。季節的には、毎年、決ったパターンがみられている。５８年度に向けて増加の傾向が年末にはみられており、感染予防に留意されたい。

罹患年令は４－５才にピークがあり、その傾向は５年間にわたって変化はない。０才の罹患は5.３％であった。

⑶ **ムンプス**　第３図－(3)　第４図－(3)

報告数は、５７年なかばから、前年を下廻っている。この発生状況は、前述（第２図）のごとく、１年半－２年の周期で大きく消長している。

罹患年令は、４－５才にピークがあり、０才の罹患は0.９％と、麻疹、水痘と比べて著しく少ない。また、１５才以上の罹患も2.０％にみられている。

⑷ **突発性発疹**　第３図－(4)　第４図－(4)

これまでの報告と同じく、全く季節的な変動はなく、毎週、１定点あたり1.０

前後の発生で経過している。

罹患年令も０才が８７.６％、１才が１１.２％でこれも従来通りである。

(5) **百日咳**　第３図－(5)　第４図－(5)

都内の発生は少ないといってよいであろう。一定点当り年間報告数では、５３年5.5、５４年7.5、５５年4.0、５６年2.9、５７年4.5と平均4.9人で、これを、水痘を１００とした場合の比率でみると、５年間の平均は８となる。この数字は少ないといっても約８％の小児が百日咳に罹患していることを示すものと考えることができるし、予防接種の推進に努力しなければならない。

５４年にピークとなった（全国的にも）発生は、５５、５６年と減少したが、５７年では増加している。百日咳の発生は、２－３年の周期で増減するものであり、その表われとみることができる。

罹患年令は、０才が２５％、１才が３５％と、現在予防接種が開始されている２４カ月以前の罹患が６０％を占めていることは注目しなければならない。

(6) **インフルエンザ**　第３図－(6)　第４図－(6)

５７年の流行は第４週に急激な上昇をみて、第６週にピークとなり、第１３週以後は減少した。この流行はＢ型ウイルス（Ｂ／シンガポール／２２２／７９型）が主体であった。

厚生省インフルエンザ特別対策の最終報告（５７.３.２９）よりみると、患者数累計は１６９万で、Ｂ型ウイルスが、ほとんど全都道府県から分離され、Ｂ型の大流行の後、少数県（6県）からＡ香港型（Ａ／京都／Ｃ－１／８１型もしくはＡ／新潟／１０２／８１型）が分離され、流行が長びいた。Ａ香港型は６月にも分離され、その後、秋になってからもＡ香港のみが分離され、５７年の流行はＡ香港型が主流となるであろうとの予測をさせたものである。Ａソ連型は三重のみで分離された。最近のインフルエンザはＡ香港（Ｈ３Ｎ２）、Ａソ連（Ｈ１Ｎ１）とＢ型の３者が交互に，もしくは混合して流行する形となっているが、５７年は５年ぶりのＢ型主体の大流行であった。このＢシンガポール型は、以前のＢ神奈川／３／７６型に替って、１９７９－８０からみられるようになり、前年もＡ型主

体の流行の中に、Aソ連型と共に少数の流行を起こしていたものである。

都内の発生は、特別対策の数字では約6万で本サーベイランスでは、一定点当り年間報告数２１５.５人と、前年の１０９.５人の約２倍の発生であった。

罹患年令は５－９才がピークを占め、１５才以上が２０.９％とかなり多い。０才の罹患は1.8％であった。

(7) 乳児嘔吐下痢症　第３図－(7)　第４図－(7)

昨年までは、胃腸症状を主徴とする感冒様疾患に含まれていたものである。そのごく一部は、特定の定点から、白色便性下痢症としてその他の疾病に含めて報告されていた。今年度から、独立して報告されるようになったが、年間報告数は１定点当り７５.１で、季節的には１１月－１２月にピークを作り、１－２月まで多発する形となっている。

罹患年令は２才未満がほとんどであるが、これは乳児ということから２才以下を主体に報告されたためと考えられる。

(8) その他の感染性下痢症　第３図－(8)　第４図－(8)

このなかには多くの原因による下痢症が含まるので、今後、病原検索がもっとも望まれる疾病である。発生は、季節的には乳児嘔吐下痢症と似た形となっており、このなかにロタウイルスによる下痢症がかなり含まれていることも考えられ、他のウイルスも、ロタウイルスと同じような季節変動をするものがかなりあると考えることもできる。

罹患年令は３－７才に多いが、１５才以上も１３.６％にみられ、年令差は比較的少ない。

(9) 不明発疹症　第４図－(9)

本サーベイランスを開始したときから集計しているが、平均して、一定点当り、年間１０人くらいの報告がある。その内容は、種々のものが含まれると考えられるが、症状など、その実態を調査する必要もあるのではなかろうか。できれば、それに応じて検査体制をつくることも考えられよう。

⑽ 伝染性紅斑　第３図－(9)　第４図－⑽

従来、小地域の流行に留まっていた伝染性紅斑が、全国的にみられるようになり、５６年に大流行を起したことが注目された。５７年はその名残りとして、春に小規模の発生をみた。都内の発生は、１定点当り、年間報告数でみると、５３年5.2、５４年１1.0、５５年２6.5と増加して行き、５６年に３8.4とピークに達し、５７年は6.1の発生に留まっている。季節的には１年の前半に多く、夏になると減少する。流行するときは、秋から少しずつ増加し、翌年の春に続くという形をとっている。５７年は、前半に多少の発生があったが、夏に減少し、以後はごく少数の発生が続いている。

罹患年令は小学校１－２年がピークである。

⑾ 風疹　第３図－⑽　第４図－⑾

５６年からの全国流行は２年目の５７年には前年を大きく上廻る流行となった。

これまでの東京都の流行は、昭和３４、４０、５０年と、６－１０年間隔ではじまり、いずれも５－６月にピークとなる患者発生がそれぞれ３年続き、２年目のピークがいちばん高いというきまったパターンを示している。今回の流行も同様で、５６年すなわち、６年目にはじまっており、５６年の６月第２週にピークとなった発生は、秋には減少したが、１０月を最低として１１月から増えはじめ、５７年に続いた。５７年は１月はじめから、かなりの発生があったが、２月終りからとくに増えはじめ、５月中旬、第１９週にピークとなった後、前年と同様に、夏に急激に減少した。１０月に最低となったが、１１－１２月にかけて、わずかの増加傾向がみられており、５８年の流行（３年目）は小さな山に留まるであろうが、ある程度の発生があると予測されている。

罹患年令は４才～小学校１－２年が多かった。小学校高学年以上は、５０－５２年の流行の際に免疫をもったものがかなりあるためであろう。

⑿ 溶連菌感染症　第３図－⑾　第４図－⑿

５４年の中途から本サーベイランスの対象疾病にとりあげられたものであるが、１定点当り年間報告数は、５４年１9.3（１年に補正）５５年１4.8、５６年

１４.８、５７年１８.１とあまり違わない。溶連菌感染症は種々の病型を示すが、発疹の有無についてみると、５５年７８.３％、５６年７７.０％、５７年７２.０％（９５６例中６８８例）と約$\frac{3}{4}$が発疹を伴うものであった。季節的には、８月に少なくなり、１１－１２月に幾分多いが、年間を通じてみられている。

罹患年令は、４－５才から小学校低学年に多い。

⑬ 手足口病　　第３図－⑫　第４図－⑬

昭和５３年に本サーベイランスがはじまってからの動きをみると、５３年は１定点当り年間報告数５９.２と大きな流行であり、全国的にも大きな流行でエンテロウイルス７１型によるものであったが、５４年、５５年はコクサキーＡ１６型の流行で、都内の発生は１定点当りそれぞれ２１.７、３４.２であった。５６年は都内は１１.９と少なかったが、都内のウイルス分離成績は明らかではない。全国的には５６年は患者発生は少なかったが、手足口病のウイルスはコクサキーＡ１６型が多く、エンテロ７１型も認められている。注目されたのは、島根県からコクサキーＡ１０型がとれたことである。コクサキーＡ１０は、世界ではじめての手足口病の報告でみられたウイルスで、その後の各地の流行から分離されていたものであるが、わが国では最初の２例の報告がＣＡ１０であった以後は知られていなかったものである。しかし、その後は、本年もＣＡ１０型は分離されていない。昭和５７年の流行は、はじめ、ＣＡ１６型であったが、Ｅ７１型が加わり、２種類の混合流行となった。そのために、流行のピークを過ぎても、低下の傾向が著るしくなく、長びいた形となった。

罹患年令は１－２才にピークを示している。

⑭ 川崎病　　第３図－⑬　第４図－⑭

感染症であるかどうか議論の多いところであるが、都のサーベイランスでは５４年以来、その他の疾病のなかで、とくに川崎病をとりあげ、診療した場合には報告を求めてきたところである。昨年までは１０数例に留まっていたが、５７年は１２２例と急激な増加をみた。１定点当りの年間報告数も５６年の0.６に対し、５７年は2.３と約４倍の数字がでている。５７年の発生は４－６月に多かっ

た。川崎病の実態は入院患者の集計が望ましいとも考えられるが、多発の情報を速やかに知る上では、サーベイランスの対象疾病に含める意義はあろう。

罹患年令は0才、1才で50％、0－2才で約$\frac{3}{4}$を占めている。

(15) ヘルパンギーナ　第3図－(14)　第4図－(15)

本症は、以前からその他の疾病に含めて報告されることが多かったもので、その他の疾病のうちの大部分を占めていた疾病である。今年度から対象疾病に含めたものであるが、その報告数は、1定点当り年間報告でみると54－56年は36.0～55.3であったのに対し57年は57.0であった。このことは、その他の疾病に含まれていた時期にも、よく報告されたものであることがうかがえる。

ヘルパンギーナの病原はコクサキーA群が主体であるが、病原微生物検出情報によると、全国的にみて、57年はコクサキーA群3、4、8型が多く、56年に多かったA10、5、6型は減少している。

罹患年令は1才がピークで、0－4才で約78％を占める。

(16) 異型肺炎　第3図－(15)　第4図－(16)

新たに対象疾病に含まれるようになったものである。昨年まではその他の疾病に含めて報告されていたが、その報告は、よく行われていたようである。特に大きな流行はみられていない。異型肺炎の大部分はマイコプラスマ肺炎と考えられるが、マイコプラスマ感染を確認するには検査の日時を要するので、速やかな情報を得るためには、当初に診たときの診断として異型肺炎という病名をとるのが適当と考えられたものである。季節的には、秋－冬、春に多い傾向もうかがえるが、最近の状況では、それほど明らかな差異はない。

罹患年令は3－8才が多い傾向ではあるが全年令にわたってみられ、15才以上も12.4％にみられている。

(17) 咽頭結膜熱　第3図－(16)　第4図－(17)

昨年はその他の疾病として、183例の咽頭結膜熱が報告され、7月～9月に多かった。本年から対象疾病にあげられ、患者定点および眼科定点から報告され

るようになった。５７年の総報告数は１０４例であったが，このうち眼科定点からの報告は5例のみである。本症は眼科よりも小児科受診の機会が多いものと判断される。季節別には５６年にみられたような夏に多い傾向は，５７年には，全くみられていない。

罹患年令は１－７才が大部分で，４才にピークがある。

⑱ 流行性角結膜炎　　第３図－⑰　第４図－⑱

本年から眼科定点から報告されるようになったものである。季節的には４－７月に多い。罹患年令は，１５才以上が６７.８％を占めている。

⑲ 急性出血性結膜炎　　第３図－⑱　第４図－⑲

これも本年から眼科定点から報告されるようになったものであるが，その発生状況は，小地域での急激な発生をとるものが多く，そのため，鋭いピークをもった発生がみられている。季節的には春から夏に多い。

罹患年令は，１５才以上が７７.９％を占め，それ以下の年令でも，学童以上が多い。

⑳ 髄膜炎，脳・脊髄炎　　第３図－⑲　第４図－⑳㉑㉒

これらは，病院定点からの報告なので，次項で述べる。

9. 病院定点からの報告　　第１０表(1)－(7)

感染症がどの程度発生したかという点は患者定点からの情報で知ることができるが，その被害がどの程度であるかという点は，感染症入院患者の情報を知る必要がある。こういう観点から，都サーベイランスでは昨年まで都立荏原および墨東病院の感染症入院患児の集計を行ってきたところである。

厚生省サーベイランスでは，感染症による障害のうち，重篤な後遺症を残しやすい神経系感染症ないし合併症に注目し，細菌性髄膜炎，無菌性髄膜炎および脳・脊髄炎を対象疾病にとりあげ，病院定点からの報告を求めることとしたものである。

病院定点からの報告によると、無菌性髄膜炎はムンプスによるものが１５例と多く、検査を行ったうちからコクサキーB群３型が３例検出されている。急性脳・脊髄炎では、流行を反映して風疹によるものが多く、麻疹、水痘の順になっている。

その他の疾病では、川崎病が６病院定点で１５４例が認められたことは注目される。肺炎は、麻疹、百日咳等の感染症によるものが２５例、異型肺炎が２５例、気管支肺炎２０例が認められている。ムンプスによる睾丸炎が３例あった。

下痢症では乳児嘔吐下痢症入院例が１０４例、サルモネラによる腸炎２３例、キャンピロバクター腸炎が３８例認められている。

髄膜炎、脳・脊髄炎の罹患年令では、無菌性髄膜炎は全年令にわたり、１５才以上が３１.５％あり、脳・脊髄炎でも５７.９％が１５才以上であった。

10. 検査データ　（第１１表）

定点からの検査資料により病原検索を行っているが、まだ、十分な成果をあげるには至っていない。これまでの検査結果一覧を表示する。なお、現在病院６、眼科４の検査定点が設置されている。

11. 厚生省感染症サーベイランス　第５図－(1)～(7)

参考として、昭和５６年７月～５７年１２月までの全国平均（一定点当り週別報告数の推移）を図示した。

週	期間	患者定点数	(1) 麻疹	(2) 水痘	(3) ムンプス	(4) 突発性発疹	(5) 百日咳	(6) インフルエンザ様疾患	(7) 嘔吐下痢症	(8) (7)以外の感染性下痢症	(9) 不明発疹症	(10) 伝染性紅斑	(11) 風疹	(12) 溶連菌感染症	(13) 手足口病	(14) 川崎病	(15) ヘルパンギーナ	(16) 異型肺炎	(17) 咽頭結膜熱	(18) 流行角結膜炎	(19) 急性出血性結膜炎	(20) 細菌性髄膜炎	(21) 無菌性髄膜炎	(22) 脳・脊髄炎	(23) その他	計
1	1. 3— 1. 9	52	15	116	121	44	4	53	159	282	5	8	63	16	0	0	2	4	0	4	4	0	0	0	0	900
2	1.10— 1.16	52	12	99	94	50	4	47	177	327	11	12	62	17	3	3	1	2	6	9	3	0	0	1	0	940
3	1.17— 1.23	53	12	87	68	48	1	117	202	416	8	15	84	29	3	3	1	4	4	9	0	0	2	1	2	1,116
4	1.24— 1.30	53	8	96	74	46	4	723	208	497	12	12	82	23	0	1	3	2	6	8	0	0	2	1	0	1,808
5	1.31— 2. 6	53	9	70	64	40	3	1,726	180	388	14	20	97	21	1	0	2	1	6	4	2	1	0	0	2	2,651
6	2. 7— 2.13	53	7	102	41	40	2	2,828	159	388	9	9	87	17	0	0	3	2	4	4	2	0	2	0	3	3,709
7	2.14— 2.20	53	6	78	52	61	2	2,356	140	338	17	9	138	18	0	3	2	2	1	1	1	0	2	1	0	3,228
8	2.21— 2.27	53	5	78	54	60	4	1,172	113	252	8	16	221	27	0	4	4	2	2	6	1	0	1	0	2	2,032
9	2.28— 3. 6	53	13	97	46	59	8	748	72	227	5	11	218	26	2	2	5	2	3	4	9	0	1	0	1	1,559
10	3. 7— 3.13	53	15	67	62	39	3	422	71	236	6	14	361	21	2	0	1	4	4	8	4	0	2	1	1	1,344
11	3.14— 3.20	53	19	89	60	41	3	208	65	214	7	11	412	17	2	0	2	4	2	9	7	0	1	2	2	1,177
12	3.21— 3.27	53	20	75	73	53	1	122	59	157	3	11	460	19	4	6	1	4	2	8	7	0	0	0	2	1,087
13	3.28— 4. 3	53	21	110	87	70	5	57	53	133	10	8	509	11	1	3	3	6	5	17	33	0	0	0	0	1,142
14	4. 4— 4.10	53	34	87	57	55	3	32	41	133	6	7	613	11	0	7	5	5	0	14	65	0	1	0	0	1,176
15	4.11— 4.17	52	18	93	53	52	5	26	33	143	6	6	533	7	2	5	9	1	3	18	10	0	1	0	2	1,026
16	4.18— 4.24	53	27	101	49	54	4	35	37	128	8	4	522	15	2	6	8	0	0	22	11	0	0	0	0	1,033
17	4.25— 5. 1	52	37	99	52	53	4	25	34	135	11	0	649	17	4	5	5	0	0	17	4	0	1	1	0	1,153
18	5. 2— 5. 8	53	34	101	49	58	3	15	32	116	9	7	677	13	4	5	10	0	0	22	6	0	2	0	0	1,163
19	5. 9— 5.15	53	31	99	71	64	5	21	40	125	16	3	717	23	7	6	21	1	1	18	3	0	1	2	4	1,279
20	5.16— 5.22	53	23	101	50	51	13	9	41	103	14	5	619	22	12	6	32	1	3	16	13	0	1	1	1	1,137
21	5.23— 5.29	53	22	74	59	61	6	12	33	138	6	12	467	20	13	5	44	1	3	20	11	0	0	1	4	1,012
22	5.30— 6. 5	53	23	100	73	53	11	18	34	125	9	4	503	24	32	2	51	2	4	8	37	1	0	1	2	1,117
23	6. 6— 6.12	53	19	87	72	47	5	15	40	171	9	7	477	15	73	2	144	2	5	14	47	1	1	1	0	1,254
24	6.13— 6.19	53	14	76	63	66	4	13	37	128	4	4	287	21	89	4	229	2	2	14	27	1	1	1	0	1,087
25	6.20— 6.26	53	13	73	79	60	2	12	39	151	6	7	360	16	118	5	320	2	1	27	13	1	1	1	3	1,310
26	6.27— 7. 3	53	13	59	89	42	4	20	30	128	6	8	193	22	126	5	344	0	2	26	9	2	0	0	1	1,129
27	7. 4— 7.10	53	3	69	53	54	2	17	41	116	8	14	230	20	134	0	293	2	1	20	3	0	2	0	0	1,082
28	7.11— 7.17	53	8	64	76	73	2	18	36	129	14	7	168	14	186	3	285	2	2	25	6	0	3	1	6	1,128
29	7.18— 7.24	53	6	53	70	53	9	9	43	120	15	10	118	23	132	3	259	1	1	18	1	0	0	0	6	950
30	7.25— 7.31	53	6	41	69	52	6	5	33	99	13	6	109	7	150	0	222	0	4	19	9	0	2	0	1	853
31	8. 1— 8. 7	53	5	34	70	49	6	12	28	103	11	3	70	13	118	3	127	1	0	21	2	0	0	0	3	679
32	8. 8— 8.14	51	7	28	44	44	3	4	15	80	6	9	39	8	101	2	93	4	1	10	12	0	3	0	1	514
33	8.15— 8.21	49	1	22	28	45	5	7	32	103	1	3	17	5	80	1	51	2	0	8	8	1	1	0	1	422
34	8.22— 8.28	51	3	19	28	52	6	5	41	128	9	0	22	7	91	1	53	3	0	10	6	0	3	0	2	489
35	8.29— 9. 4	53	4	26	26	41	6	7	48	144	10	3	13	6	109	0	76	1	2	12	3	0	0	0	1	538
36	9. 5— 9.11	53	2	18	26	48	7	10	37	169	8	2	9	8	89	0	49	2	2	6	1	0	0	0	5	498
37	9.12— 9.18	53	1	13	24	49	10	16	39	135	11	1	4	6	103	1	19	2	1	4	0	0	0	0	1	440
38	9.19— 9.25	53	1	18	25	54	5	13	40	145	7	0	2	9	71	5	23	0	1	10	2	0	1	0	1	433
39	9.26—10. 2	53	2	16	31	70	8	15	49	136	13	0	1	18	66	1	33	5	2	15	3	0	2	0	0	486
40	10. 3—10. 9	53	2	27	32	73	5	30	37	152	11	0	1	9	58	1	20	1	0	9	0	0	0	0	2	470
41	10.10—10.16	53	3	42	15	46	6	31	52	141	7	0	4	20	46	2	22	5	0	9	0	0	0	0	6	457
42	10.17—10.23	53	1	42	28	54	3	21	39	175	18	0	1	19	42	0	21	1	1	18	0	0	3	0	1	488
43	10.24—10.30	53	4	38	48	56	8	24	75	191	6	5	4	20	35	1	19	5	1	11	0	0	1	0	0	552
44	10.31—11. 6	53	1	62	31	44	2	25	70	187	4	2	2	18	26	0	14	5	3	6	0	0	3	0	2	507
45	11. 7—11.13	53	2	60	40	46	2	35	75	227	10	6	5	21	34	1	6	2	2	16	1	1	2	2	1	597
46	11.14—11.20	53	3	68	28	61	1	47	101	273	9	4	4	27	32	2	4	2	3	12	1	0	2	0	0	684
47	11.21—11.27	53	3	93	45	55	10	33	126	255	15	8	5	26	28	0	18	4	1	9	0	0	1	0	4	739
48	11.28—12. 4	53	1	99	53	49	1	36	133	307	5	7	8	35	19	0	6	6	0	11	0	0	2	0	3	781
49	12. 5—12.11	53	5	84	44	53	2	27	167	371	6	0	3	27	20	1	20	7	3	4	0	1	0	0	3	848
50	12.12—12.18	53	5	105	38	42	3	35	167	498	8	1	4	34	21	2	13	6	0	4	3	0	0	0	2	991
51	12.19—12.25	53	6	131	37	52	1	33	178	520	21	3	2	42	16	4	11	8	1	5	2	0	0	0	0	1,073
52	12.26— 1. 1	53	10	104	34	32	6	32	134	342	7	0	2	26	10	0	3	4	3	2	1	0	0	0	4	756
計	57. 1. 3 ～ 58. 1. 1	2,744	565	3,690	2,755	2,714	238	11,379	3,965	10,825	478	324	10,258	956	2,317	122	3,012	137	104	621	393	10	54	19	88	55,024

第3表　昭和57年東京都感染症サーベイランス、疾病別、月別報告書

月	週 期間	平均患者定点数（週）	(1) 麻疹	(2) 水痘	(3) ムンプス	(4) 突発性発疹	(5) 百日咳	(6) インフルエンザ様疾患	(7) 乳児嘔吐下痢症	(8) (7)以外の感染性下痢症	(9) 不明発疹症	(10) 伝染性紅斑	(11) 風疹	(12) 咽頭結膜熱感染症菌	(13) 手足口病	(14) 川崎病	(15) ヘルパンギーナ	(16) 異型肺炎	(17) 咽頭結膜熱	(18) 流行性角結膜炎	(19) 急性出血性結膜炎	(20) 細菌性髄膜炎	(21) 無菌性髄膜炎	(22) 脳・脊髄炎	(23) その他	計
1	1W〜4W 1.3−1.30	52.5（4）	47	398	357	188	13	940	746	1,522	36	47	291	85	6	7	7	12	16	30	7	0	4	3	2	4,764
2	5W〜8W 1.31−2.27	53.0（4）	27	328	211	201	11	8,082	592	1,366	48	54	543	83	1	7	11	7	13	15	6	1	5	1	7	11,620
3	9W〜13W 2.28−4.3	53.0（5）	88	438	328	262	20	1,557	320	967	31	55	1,960	94	11	11	12	20	16	46	60	0	4	3	6	6,309
4	14W〜17W 4.4−5.1	52.5（4）	116	380	211	214	16	118	145	539	31	17	2,317	50	8	23	27	6	3	71	90	0	3	1	2	4,388
5	18W〜21W 5.2−5.29	53.0（4）	110	375	229	234	27	57	146	482	45	27	2,480	78	36	22	107	3	7	76	33	0	4	4	9	4,591
6	22W〜26W 5.30−7.3	53.0（5）	82	395	376	268	26	78	180	703	34	30	1,820	98	438	18	1,088	8	14	89	133	6	3	4	6	5,897
7	27W〜30W 7.4−7.31	53.0（4）	23	227	268	232	19	49	153	464	50	37	625	64	602	6	1,059	5	8	82	19	0	7	1	13	4,013
8	31W〜34W 8.1−8.28	51.0（4）	16	103	170	190	20	28	116	414	27	15	148	33	390	7	324	10	1	49	28	1	7	0	7	2,104
9	35W〜39W 8.29−10.2	53.0（4）	10	91	132	262	36	61	213	729	49	6	29	47	438	7	200	10	8	47	9	0	3	0	8	2,395
10	40W〜43W 10.3−10.30	53.0（4）	10	149	123	229	22	106	203	659	42	5	10	68	181	4	82	12	2	47	0	0	4	0	9	1,967
11	44W〜47W 10.31−11.27	53.0（4）	9	283	144	206	15	140	372	942	38	20	16	92	120	3	42	13	9	43	2	1	8	2	7	2,527
12	48W〜52W 11.28−1.1	53.0（5）	27	523	206	228	13	163	779	2,038	47	11	19	164	86	7	53	31	7	26	6	1	2	0	12	4,449
計	1W〜52W 1.3−1.1	52.8（52）	565	3,690	2,755	2,714	238	11,379	3,965	10,825	478	324	10,258	956	2,317	122	3,012	137	104	621	393	10	54	19	88	55,024

眼科定点　6

病院定点　6

	週	時間	赤痢	腸チフス	パラチフス	しょう紅熱	ジフテリア	流脳	日脳	急性灰白髄炎	コレラ	計	備考
1	1	1. 1－ 1. 9	14			4						18	
	2												
	3	1.10－ 1.16	8			11						19	
	4	1.17－ 1.23	6			3						9	
	5	1.24－ 1.30	5		1	7		1				14	
2	6	1.31－ 2. 6	1			6						7	
	7	2. 7－ 2.13	2		1	5						8	
	8	2.14－ 2.20	8	1		5						14	
	9	2.21－ 2.27	5			4						9	
3	10	2.28－ 3. 6	2	1		5	1					9	
	11	3. 7－ 3.13	6			4						10	
	12	3.14－ 3.20	3									3	
	13	3.21－ 3.27	3			4						7	
	14	3.28－ 4. 3	5	1	1							7	
4	15	4. 4－ 4.10	3		1	2					1(疑)	7	
	16	4.11－ 4.17	6	1	1	5						13	
	17	4.18－ 4.24	8	1		6					1(疑)	16	
	18	4.25－ 5. 1	6			1						7	
5	19	5. 2－ 5. 8	4	1	1	3	1					10	
	20	5. 9－ 5.15	13		1	3						17	
	21	5.16－ 5.22	4			5						9	
	22	5.23－ 5.29	3		1	4			1(疑)			9	
6	23	5.30－ 6. 5	11	1		2						14	
	24	6. 6－ 6.12	11			1					1*	13	*5／16 発生分
	25	6.13－ 6.19	3			3						6	
	26	6.20－ 6.26	5		1	3						9	
	27	6.27－ 7. 3	6		2	1						9	
7	28	7. 4－ 7.10	2									2	
	29	7.11－ 7.17	3		2	4						9	
	30	7.18－ 7.24	6		1	1						8	
	31	7.25－ 7.31	3	1	3	4						11	
8	32	8. 1－ 8. 7	7			5						12	
	33	8. 8－ 8.14	17	1	10							28	
	34	8.15－ 8.21	9		2	1					1	13	
	35	8.22－ 8.28	13	2	2	2						19	
9	36	8.29－ 9. 4	21	1	1							23	
	37	9. 5－ 9.11	16		2							18	
	38	9.12－ 9.18	*4									4	このうち1件からコレラ菌が検出された
	39	9.19－ 9.25	9	2	2	3						16	
	40	9.26－10. 2	4	1		4					1(保)	10	
10	41	10. 3－10. 9	9	1	1	5						16	
	42	10.10－10.16	4	1	1	3						9	
	43	10.17－10.23	5			4						9	
	44	10.24－10.30	3	1		1						5	
11	45	10.31－11. 6	3	1	1	2						7	
	46	11. 7－11.13	9	2	1	6					2	20	
	47	11.14－11.20	3			2						5	
	48	11.21－11.27	1	2	1	14						18	
12	49	11.28－12. 4	3			6						9	
	50	12. 5－12.11	4	1		9						14	
	51	12.12－12.18	3			6						9	
	52.3	12.19－12.31	18	2		7			1			28	
計		1. 1～12.31	330	26	41	186	2	1	2(真1 疑1)	0	7(疑2 患4 保1)	595	
昭和56年 計			328	33	28	344	6	4	2(真1 疑1)	0	4(患3 保1)	749	

第５表　昭和５７年東京都伝染病月別発生状況

月	期間（）は週	赤痢	腸チフス	パラチフス	しょう紅熱	ジフテリア	流脳	日脳	急灰	コレラ	計
1	1.1(1) − 1.30(5)	33		1	25		1				60
2	1.31(6) − 2.27(9)	16	1	1	20						38
3	2.28(10) − 4.3(14)	19	2	1	13	1					36
4	4.4(15) − 5.1(18)	23	2	2	14					2(疑)2	43
5	5.2(19) − 5.29(22)	24	1	3	15	1		1疑			45
6	5.30(23) − 7.3(27)	36	1	3	10					1	51
7	7.4(28) − 7.31(31)	14	1	6	9						30
8	8.1(32) − 8.28(35)	46	3	14	8					1	72
9	8.29(36) −10.2(40)	54	4	5	7					1保	71
10	10.3(41) −10.30(44)	21	3	2	13						39
11	10.31(45) −11.27(48)	16	5	3	24					2	50
12	11.28(49) −12.31(53)	28	3		28			1真			60
計	1.1(1) −12.31(53)	330	26	41	186	2	1	2(真1 疑1)	0	患4 7疑2 保1	595

第６表　ブロック別疾病別報告数

第１週～第５２週

調査期間　５７年１月３日（日）～５８／１月１日（土）

定点別	ブロック別	＊定点数	(1) 麻疹	(2) 水痘	(3) ムンプス	(4) 突発性発疹	(5) 百日咳	(6) インフルエンザ様疾患	(7) 乳児嘔吐下痢症	(8) (7)以外の感染性下痢症	(9) 不明発疹症	(10) 伝染性紅斑	(11) 風疹	(12) 溶連菌感染症	(13) 手足口病	(14) 川崎病	(15) ヘルパンギーナ	(16) 異型肺炎	(17) 咽頭結膜熱	(18) 流行角結膜炎	(19) 急性出血性結膜炎	(20) 細菌性髄膜炎	(21) 無菌性髄膜炎	(22) 脳・脊髄炎	(23) その他	計
患者定点	中央	8（内病院2）	36	449	135	445	29	386	235	373	86	45	936	243	330	31	273	37	11		1				2	4,083
	江東	11	93	1,045	690	669	89	1,770	995	2,176	87	96	3,030	236	587	35	826	36	15						27	12,502
	城西	10	67	448	381	415	7	2,208	564	2,572	108	45	1,030	98	258	15	507	10	10						35	8,778
	城南	4	37	286	135	157	5	513	329	998	27	18	442	41	135	5	145	1								3,274
	城北	6	53	343	422	332	26	1,587	820	1,395	86	29	904	109	278	5	202	37	2						12	6,642
	市町村部	14	279	1,119	992	696	82	4,915	1,022	3,311	84	91	3,916	229	729	31	1,059	16	61						10	18,642
病院定点		6																				10	54	19	2	85
眼科定点		6																	5	621	392					1,018
区部計		50	286	2,571	1,763	2,018	156	6,464	2,943	7,514	394	233	6,342	727	1,588	91	1,953	121	43	480	364	10	54	19	78	36,212
市町村部計		15	279	1,119	992	696	82	4,915	1,022	3,311	84	91	3,916	229	729	31	1,059	16	61	141	29				10	18,812
総計		65	565	3,690	2,755	2,714	238	11,379	3,965	10,825	478	324	10,258	956	2,317	122	3,012	137	104	621	393	10	54	19	88	55,024

＊定点数は患者定点、眼科定点、病院定点の合計である。

第7表　ブロック別疾病別1定点当り報告数

第1W（57.1.3）－第52W（58.1.1）

ブロック別	平均報告定点数	(1) 麻疹	(2) 水痘	(3) ムンプス	(4) 突発性発疹	(5) 百日咳	(6) インフルエンザ様疾患	(7) 乳児嘔吐下痢症	(8) (7)以外の感染性下痢症	(9) 不明発疹症	(10) 伝染性紅斑	(11) 風疹	(12) 咽頭結膜熱感染症菌	(13) 手足口病	(14) 川崎病	(15) ヘルパンギーナ	(16) 異型肺炎	(17) 咽頭結膜熱	(18) 流行角結膜炎性	(19) 急性出血性結膜炎	(20) 細菌性髄膜炎	(21) 無菌性髄膜炎	(22) 脳・脊髄炎	(23) その他	計
中央	*7.96	4.52	56.40	16.96	55.90	3.64	48.49	29.52	46.86	10.80	5.65	117.59	30.53	41.46	3.89	34.30	4.65	1.38		0.13				0.25	512.93
江東	10.98	8.47	95.17	62.84	60.93	8.11	161.20	90.62	198.18	7.92	8.74	275.96	21.49	53.46	3.19	75.23	3.28	1.37						2.46	1,138.61
城西	9.92	6.75	45.16	38.41	41.83	0.71	222.58	56.85	259.27	10.89	4.54	103.83	9.88	26.01	1.51	51.11	1.01	1.01						3.53	884.88
城南	4.00	9.25	71.50	33.75	39.25	1.25	128.25	82.25	249.50	6.75	4.50	110.50	10.25	33.75	1.25	36.25	0.25								818.50
城北	5.98	8.86	57.36	70.57	55.52	4.35	265.38	137.12	233.28	14.38	4.85	151.17	18.23	46.49	0.84	33.78	6.19	0.33						2.01	1,110.70
市町村部	13.92	20.04	80.39	71.26	50.00	5.89	353.09	73.42	237.86	6.03	6.54	281.32	16.45	52.37	2.23	76.08	1.15	4.38						0.72	1,339.22
病院定点	6																				1.67	9.00	3.17	0.33	14.17
眼科定点	6																	0.83	103.50	65.33					169.67
区部計	38.84＋眼5 病6	7.36	66.19	45.39	51.96	4.02	166.43	75.77	193.46	10.14	6.00	163.29	18.72	40.89	2.34	50.28	3.12	0.98	96.00	72.80	1.67	9.00	3.17	1.74	726.57
市町村部計	13.92＋眼1	20.04	80.39	71.26	50.00	5.89	353.09	73.42	237.86	6.03	6.54	281.32	16.45	52.37	2.23	76.08	1.15	4.38	141.00	29.00				0.72	1,260.85
総計	52.77＋眼6 病6	10.71	69.93	52.21	51.43	4.51	215.63	75.14	205.14	9.06	6.14	194.39	18.12	43.91	2.31	57.08	2.60	1.76	103.50	65.50	1.67	9.00	3.17	1.50	849.53

＊患者定点で、休診を除いた週平均定点数

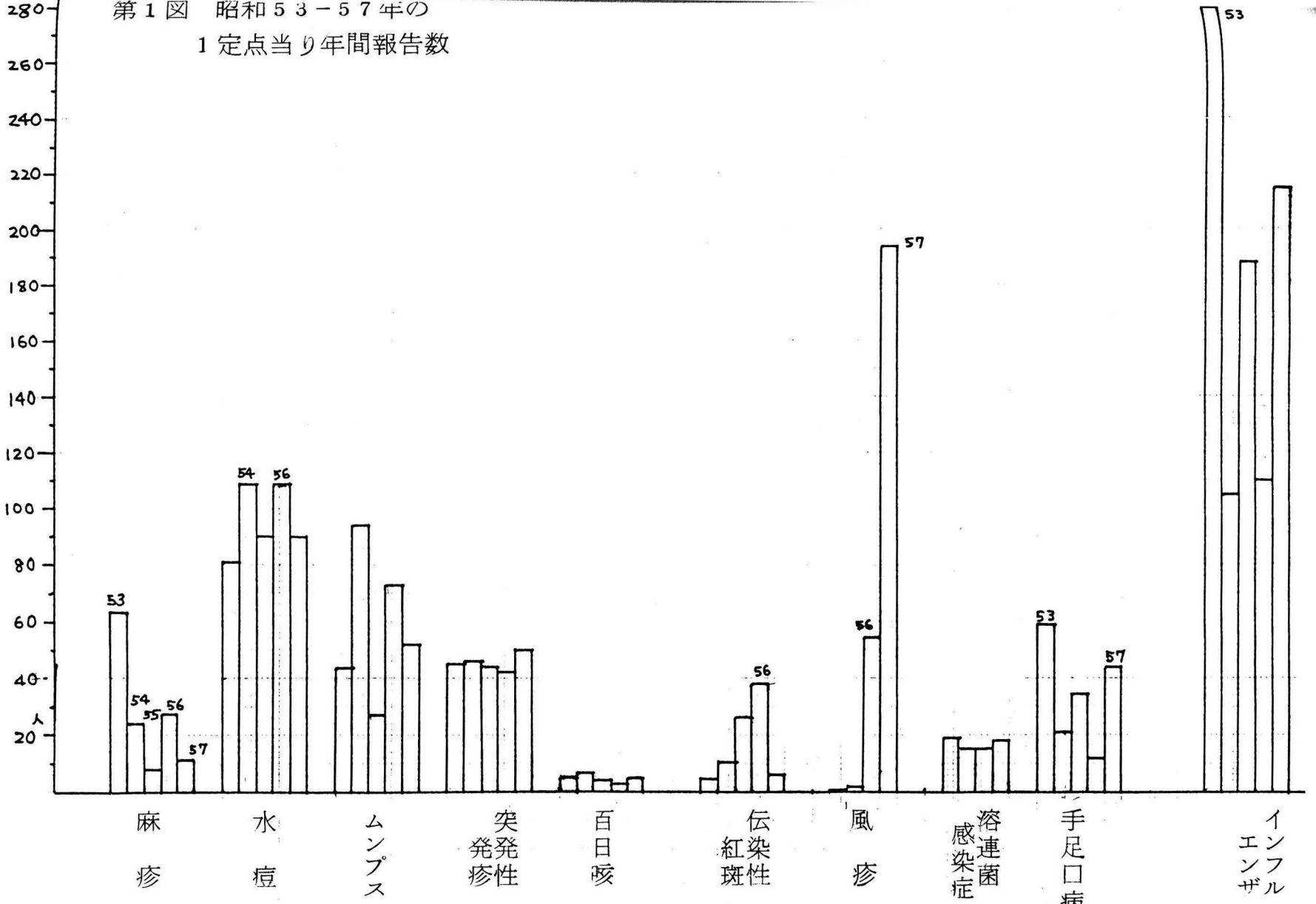
第８表　年度別１定点当り平均年間報告数および平均１週当り報告数

	年度	平均定点数	麻疹	水痘	ムンプス	突発性発疹	百日咳	インフルエンザ様疾患	乳児嘔吐下痢症	その他の感染性下痢症	不明発疹症	伝染性紅斑	風疹	溶連菌感染症	手足口病	川崎病	ヘルパンギーナ	異型肺炎	咽頭結膜熱
一定点当り年間報告数	５３	368	62.5	80.6	42.9	45.4	5.5	272.4		＊242.7	13.2	5.2	－	－	59.2				
	５４	397	24.1	109.1	94.5	45.6	7.5	105.5	(3.7)	＊269.5	14.2	11.0	1.2	19.3	21.7	(0.35)	(47.6)	(2.5)	(0.8)
	５５	423	8.1	69.6	26.8	44.0	4.0	188.5	(3.8)	＊319.9	9.6	26.5	1.8	14.8	34.2	(0.6)	(55.3)	(6.7)	(1.5)
	５６	454	27.4	108.6	73.3	42.4	2.9	109.5	(3.3)	＊287.2	7.6	38.4	53.6	14.8	11.9	(0.6)	(36.0)	(2.4)	(4.0)
	５７	528	10.7	69.9	52.2	51.4	4.5	215.5	75.1	205.0	9.1	6.1	194.3	18.1	43.9	2.3	57.0	2.6	2.0
	５３－５７平均	434	26.6	87.6	57.9	45.8	4.9	178.3			10.7	17.4	62.7	16.8	34.2				
一週当り報告数（一定点当り）	５３		1.20	1.55	0.83	0.87	0.11	5.23		＊4.67	0.25	0.10	－	－	1.14				
	５４		0.46	2.10	1.82	0.88	0.14	2.03	(0.07)	＊5.18	0.27	0.21	0.02	0.37	0.42	(0.01)	(0.92)	(0.05)	(0.02)
	５５		0.16	1.34	0.52	0.85	0.08	3.65	(0.07)	＊6.15	0.18	0.51	0.03	0.28	0.66	(0.01)	(1.06)	(0.13)	(0.03)
	５６		0.53	2.09	1.41	0.82	0.06	2.11	(0.06)	＊5.52	0.15	0.74	1.03	0.28	0.23	(0.01)	(0.69)	(0.05)	(0.08)
	５７		0.21	1.34	1.00	0.99	0.09	4.14	1.44	3.94	0.17	0.12	3.74	0.34	0.84	0.04	1.10	0.05	0.04
	５３－５７平均		0.51	1.68	1.11	0.88	0.09	3.42			0.20	0.33	1.21	0.32	0.65				

＊５３－５６年は胃腸症状を主徴とする感冒様疾患

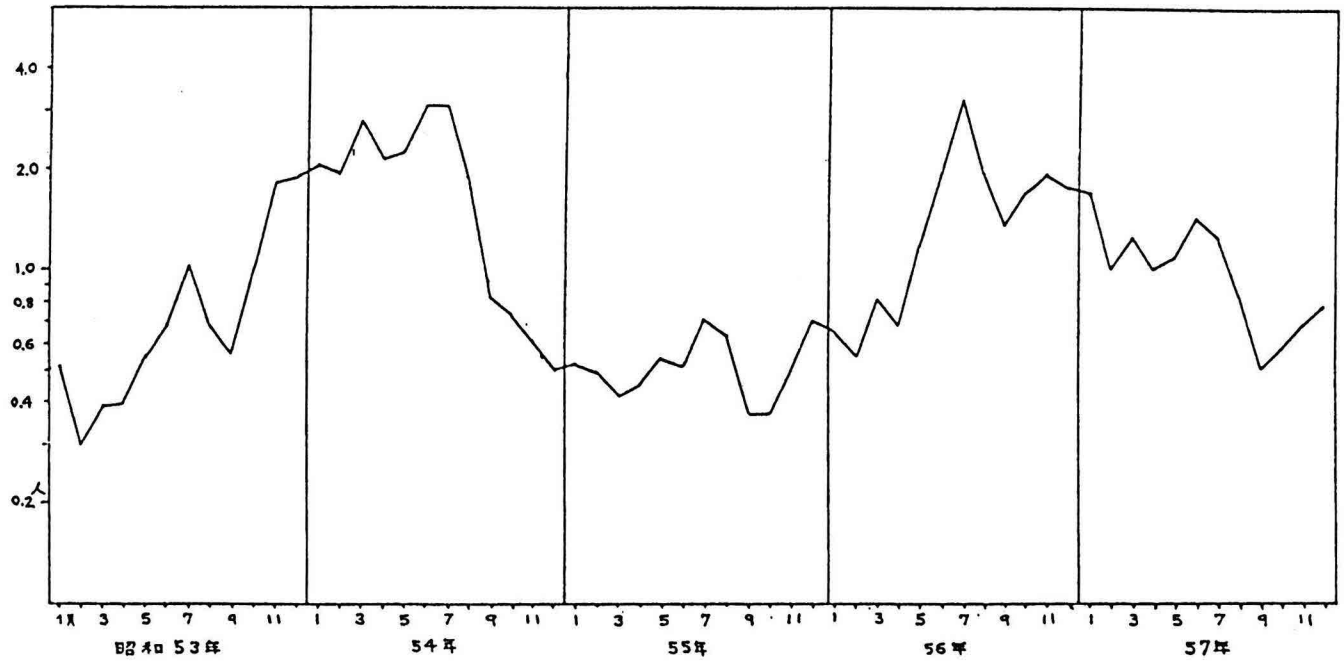
（　）は当時対象疾病としてあげられていなかったが，その他の疾病として報告されたもの。

第１図　昭和５３－５７年の
１定点当り年間報告数



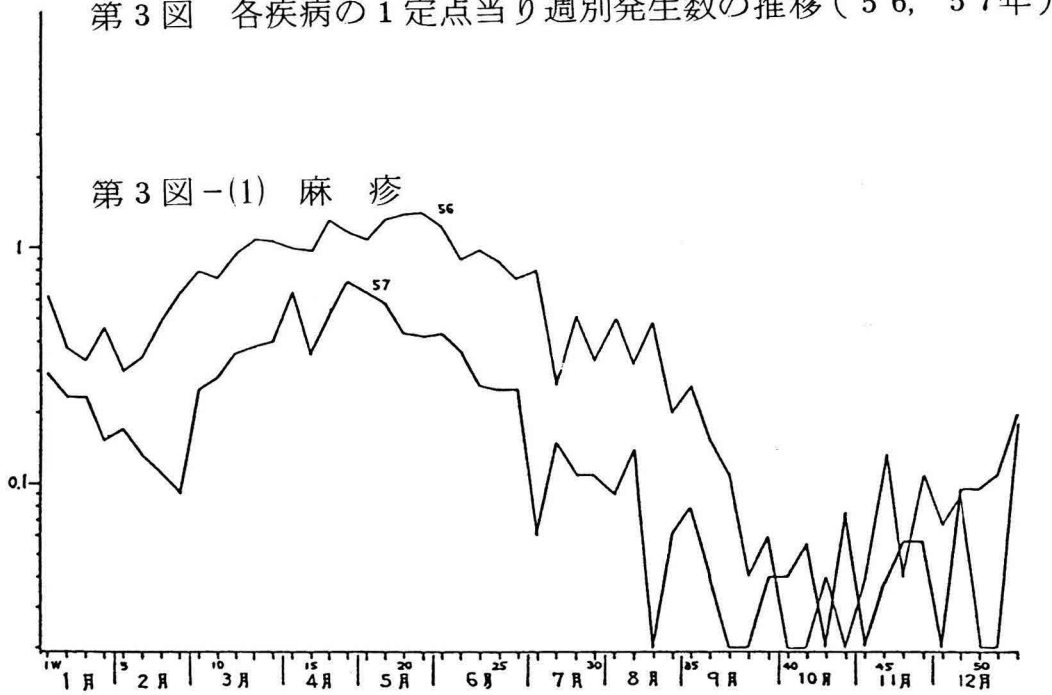
第２図　ムンプス　東京都サーベイランス

月平均１定点当り１週当り報告数



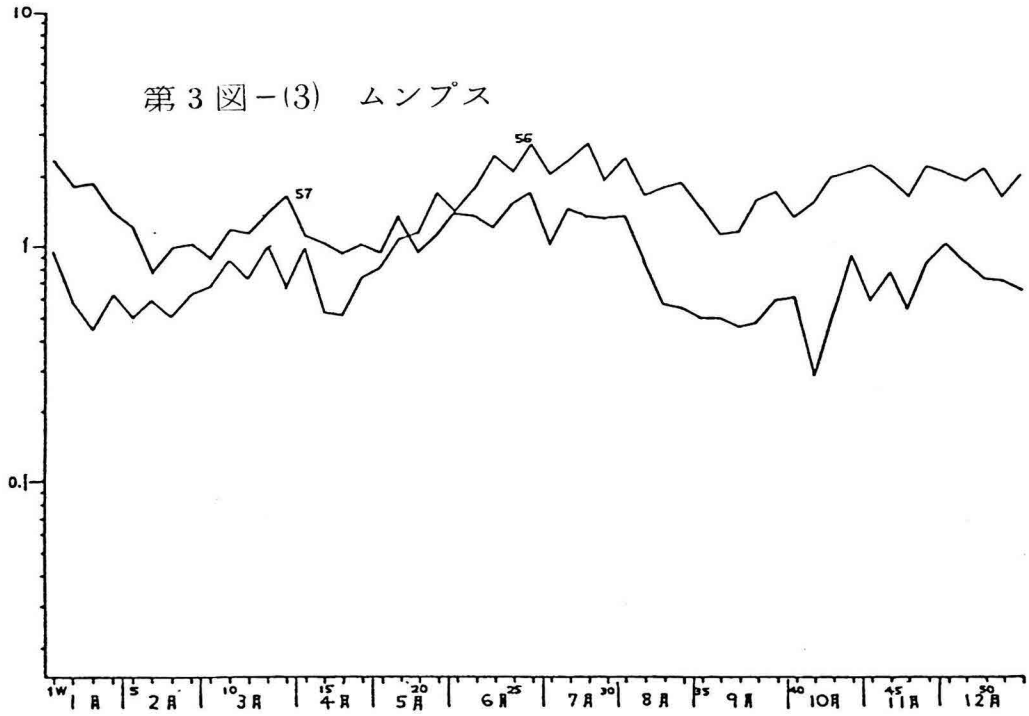
第３図　各疾病の１定点当り週別発生数の推移（５６，５７年）

第３図－(1)　麻　疹

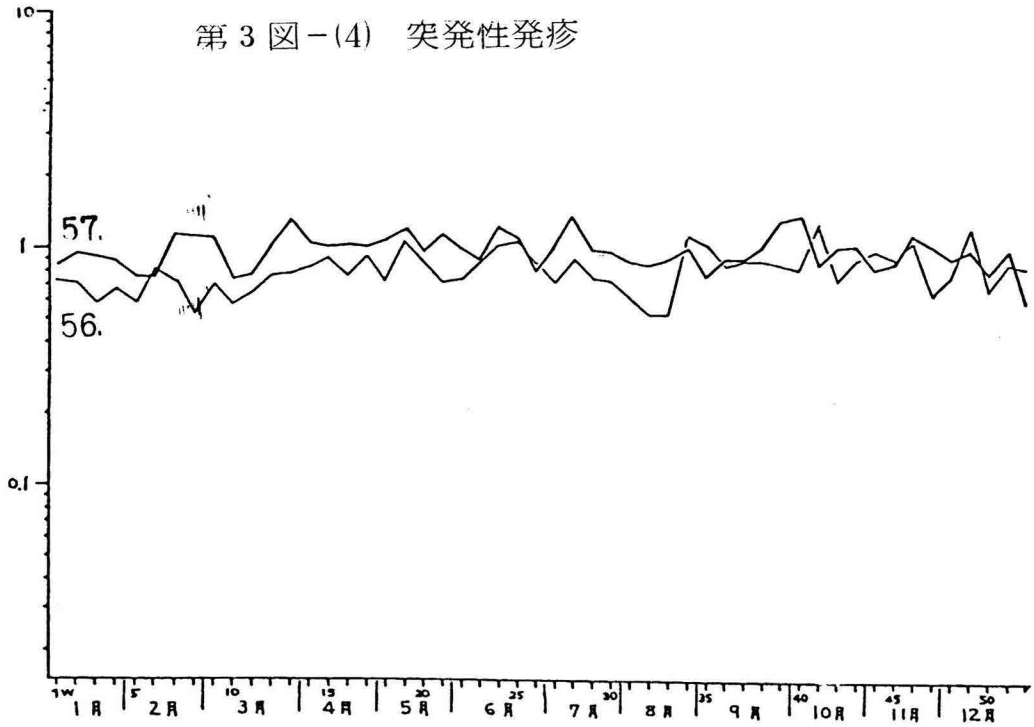


第３図－(2)　水　痘

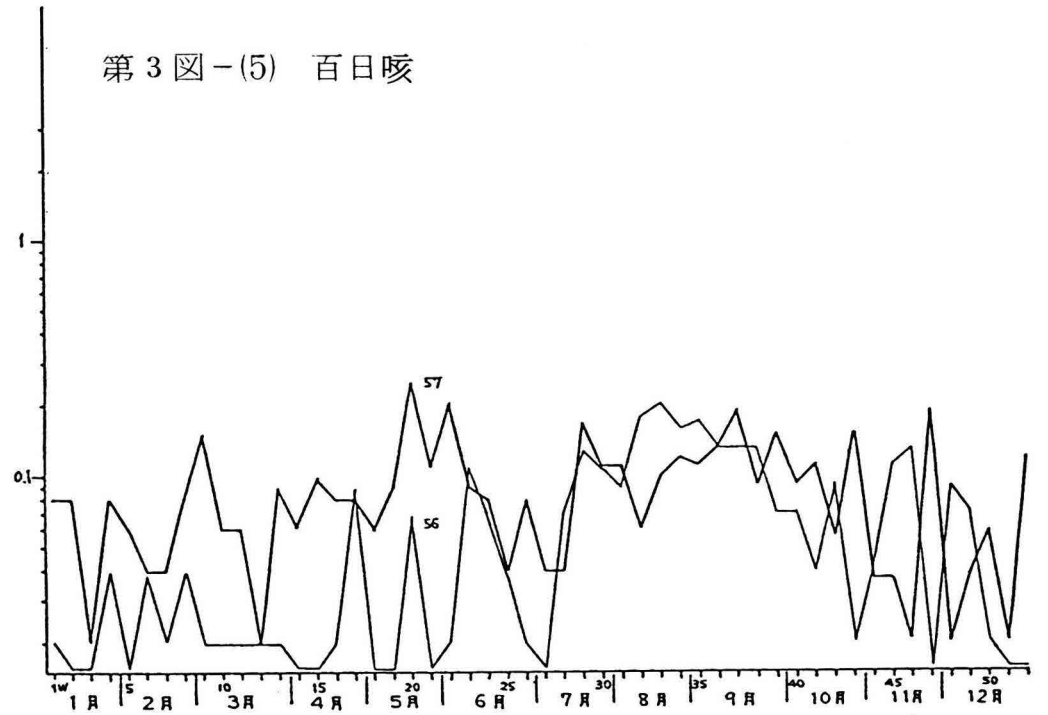
第３図－(3)　ムンプス



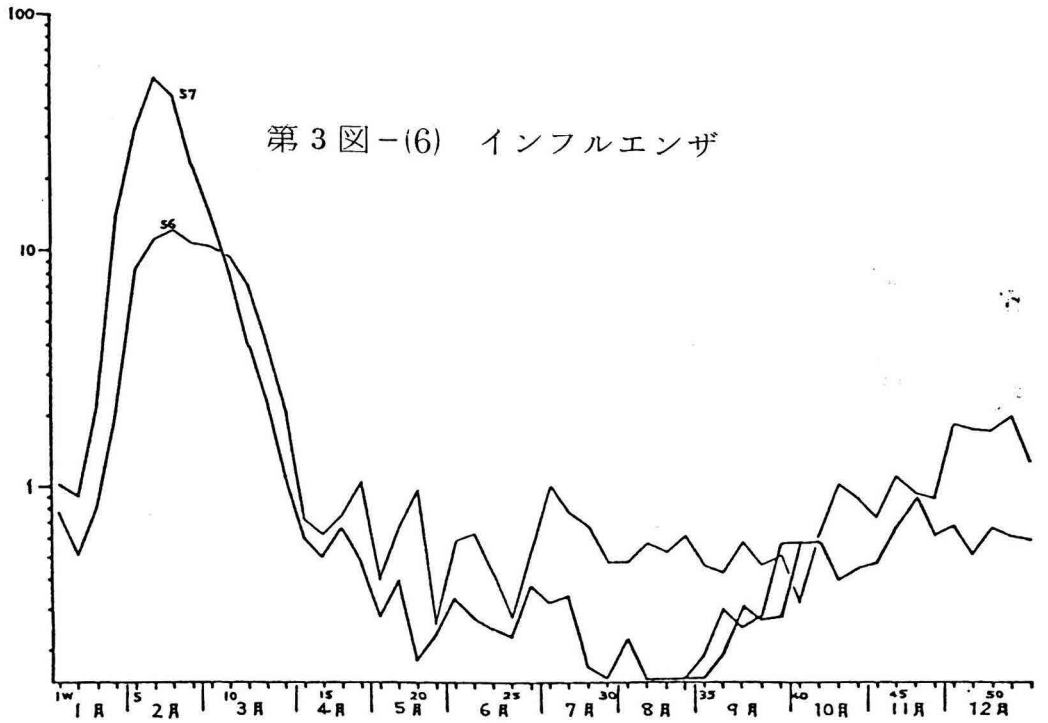
第３図－(4)　突発性発疹

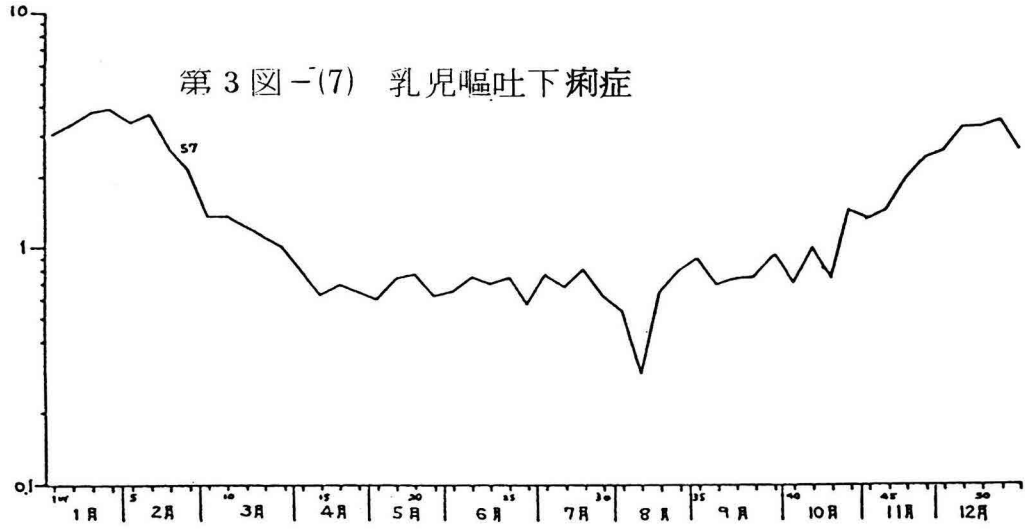


第３図－(5)　百日咳

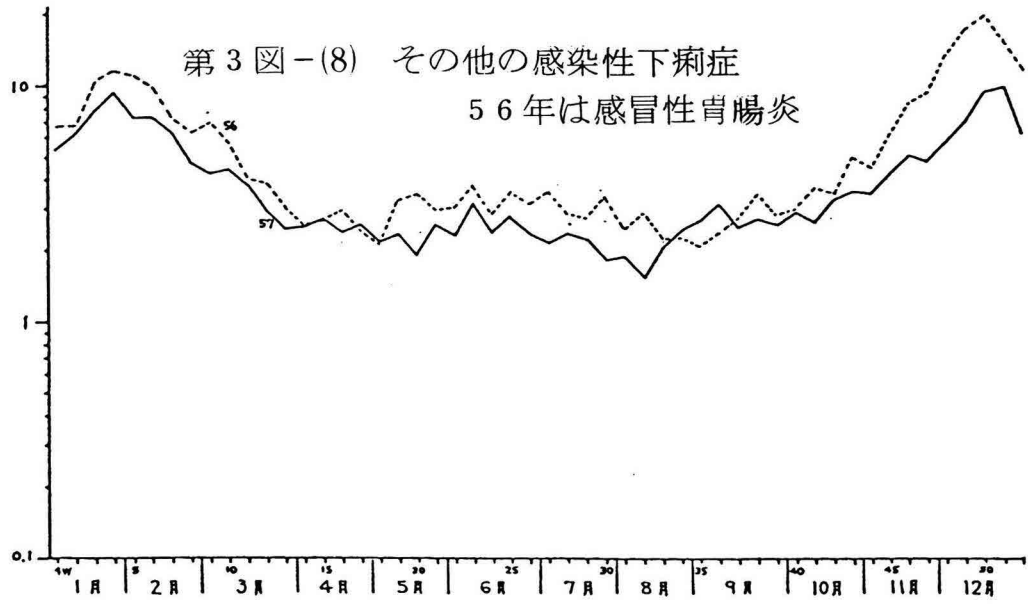


第３図－(6)　インフルエンザ



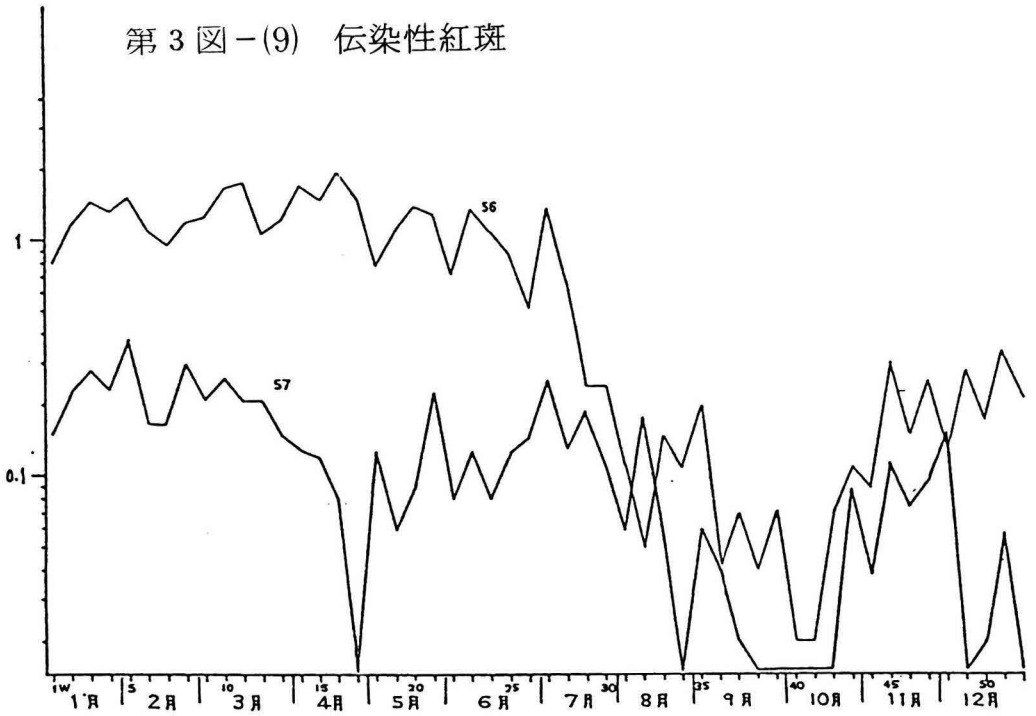


第３図－(7)　乳児嘔吐下痢症

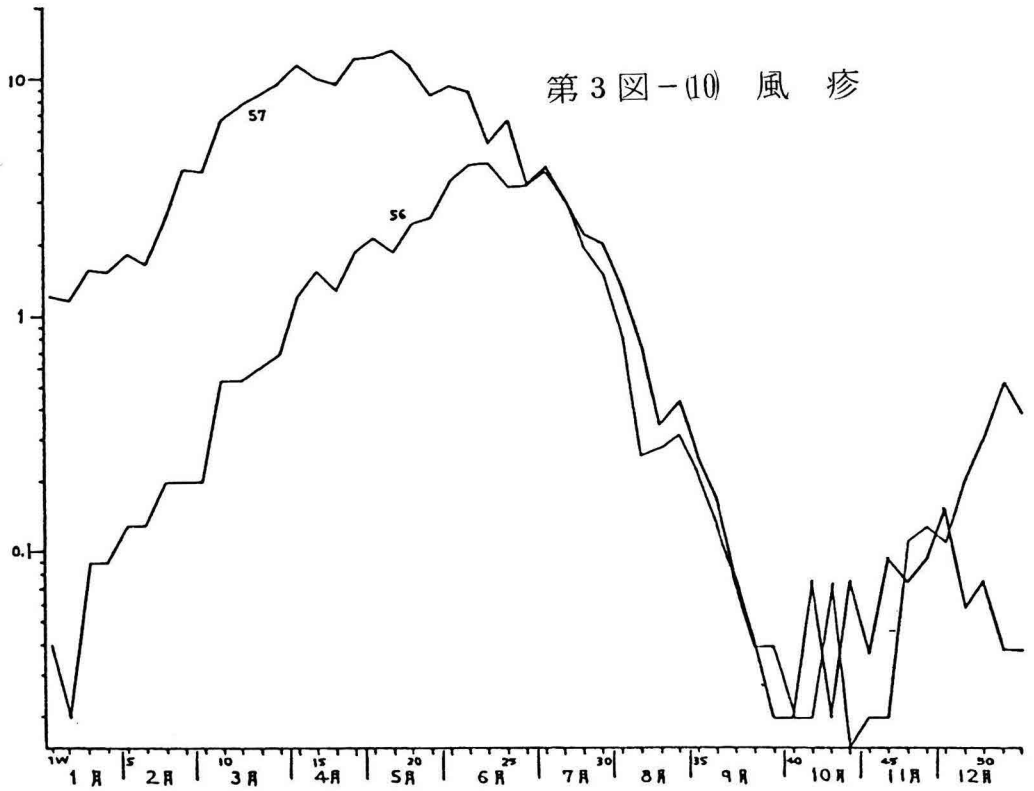


第３図－(8)　その他の感染性下痢症
５６年は感冒性胃腸炎

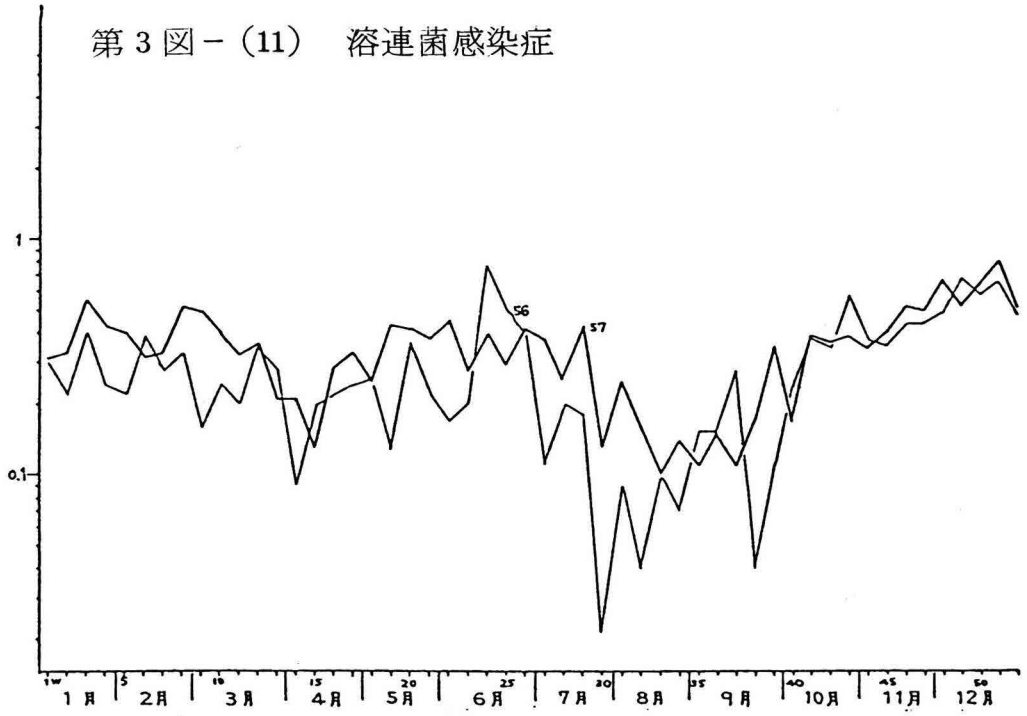
第３図－(9)　伝染性紅斑



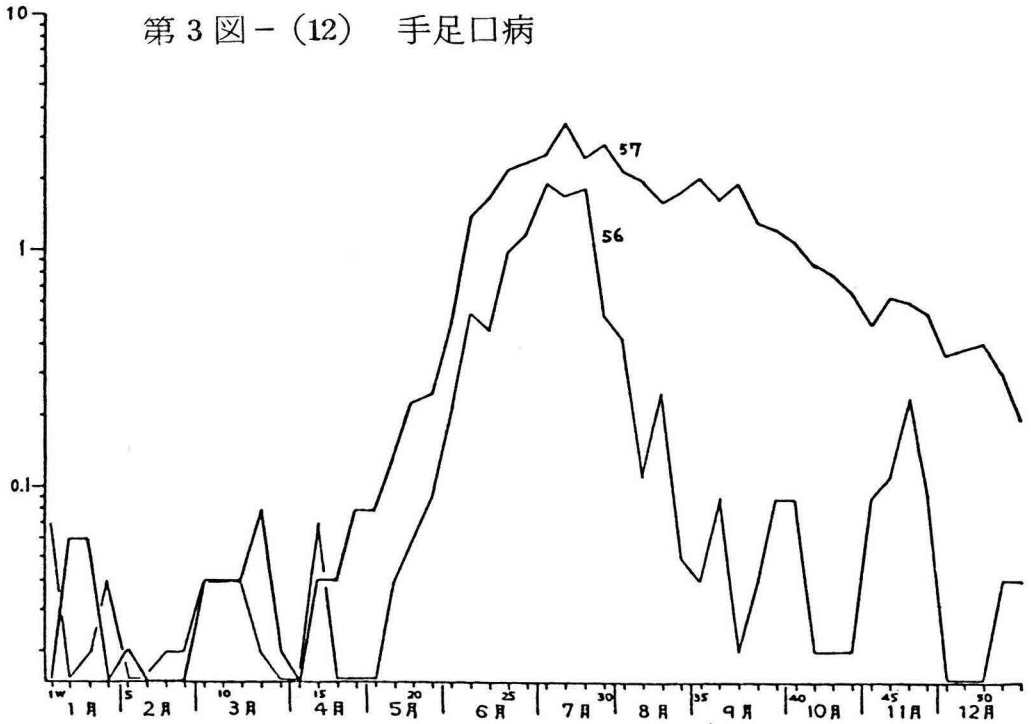
第３図－(10)　風　疹



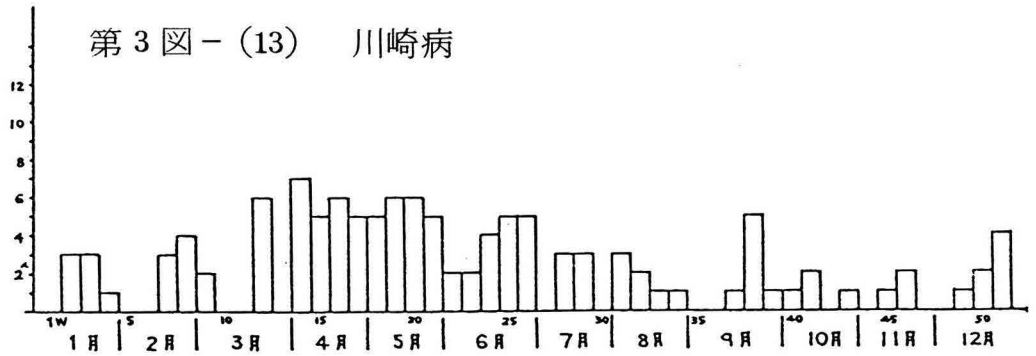
第３図－（11）　溶連菌感染症



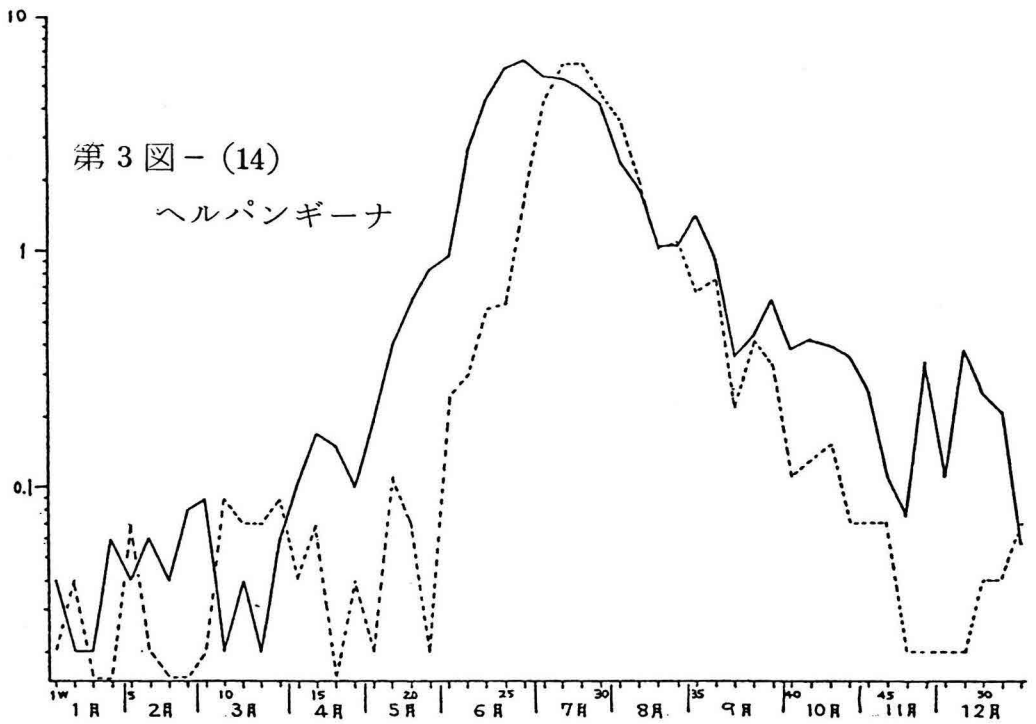
第３図－（12）　手足口病



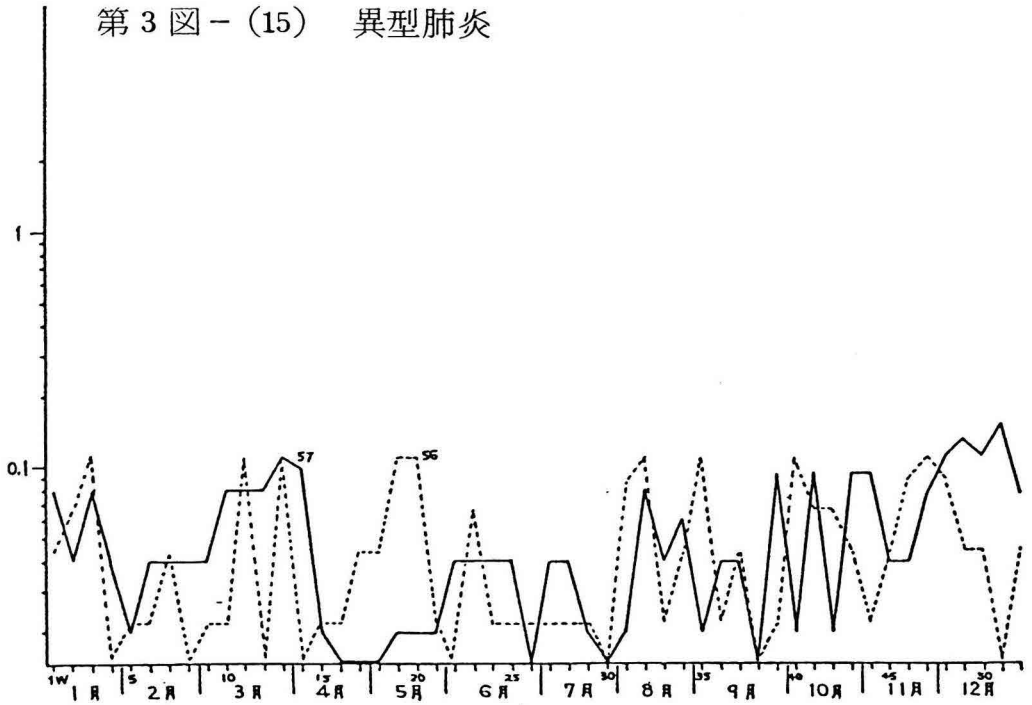
第３図－（13）　川崎病



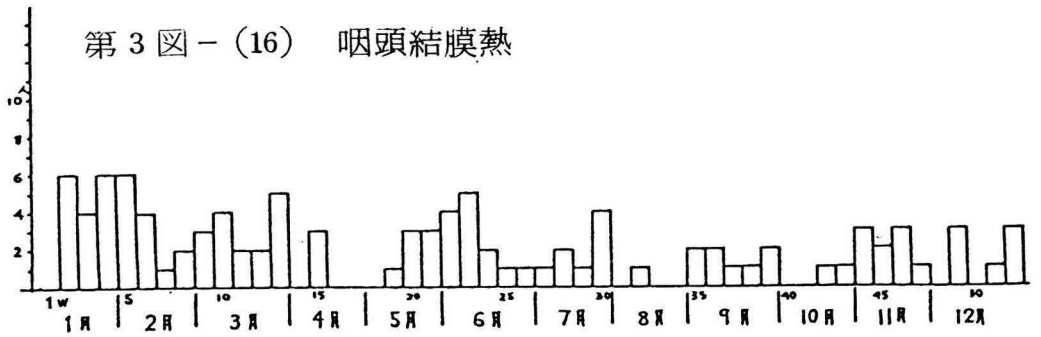
第３図－（14）
ヘルパンギーナ



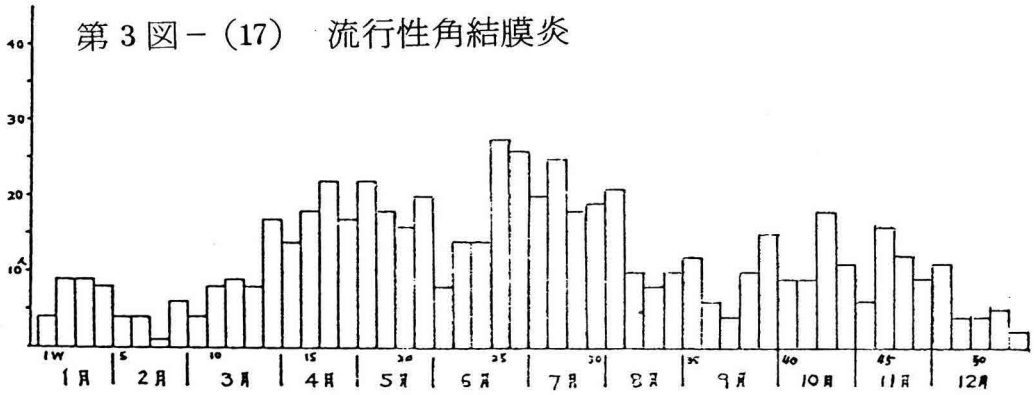
第３図－（15）　異型肺炎



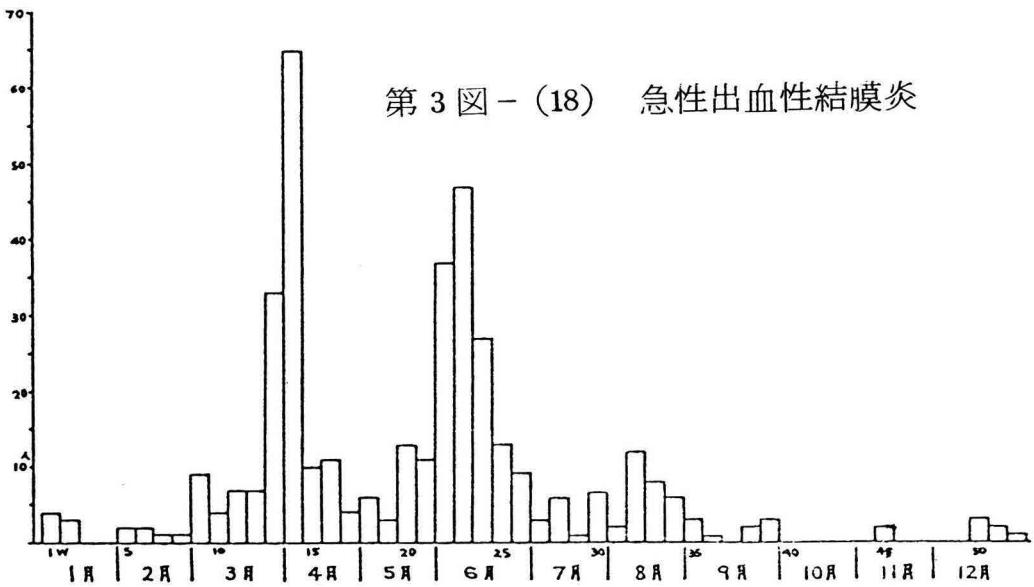
第３図－（16）　咽頭結膜熱



第 3 図－（17）　流行性角結膜炎

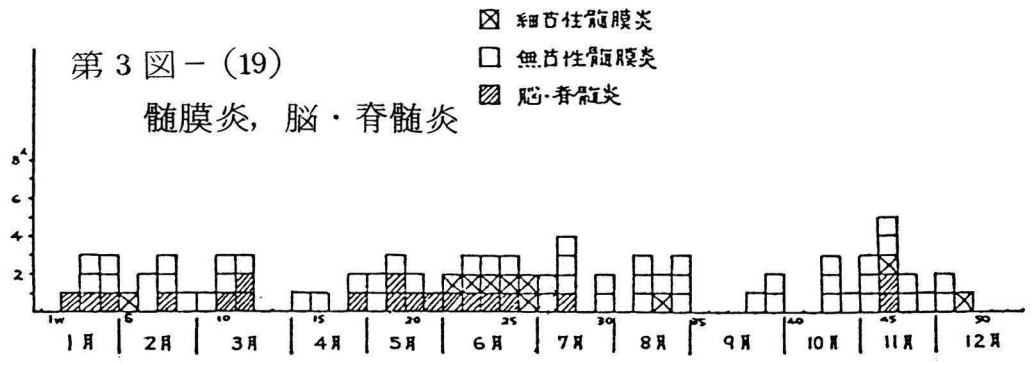


第 3 図－（18）　急性出血性結膜炎



第３図－(19)

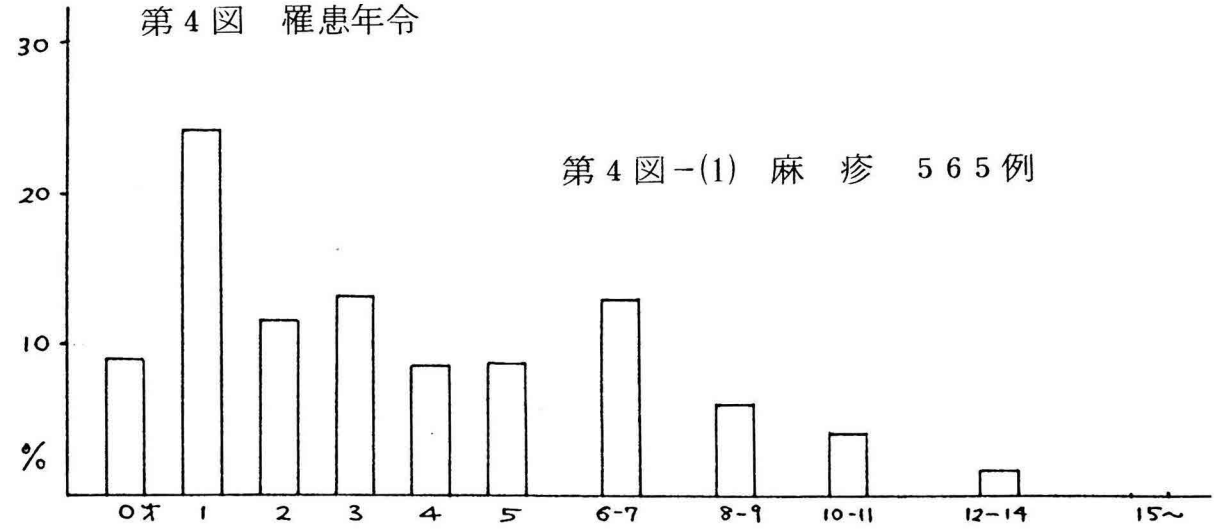
髄膜炎，脳・脊髄炎



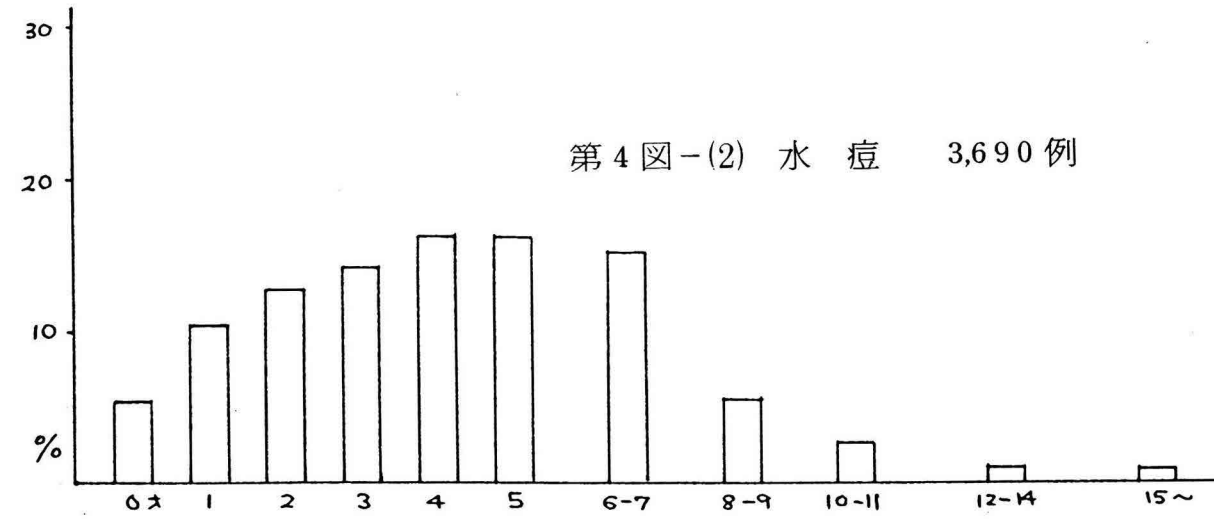
疾病名＼年令別	0才	1才	2才	3才	4才	5才	6−7才	8−9才	10−11才	12−14才	15才以上	計
(1)麻疹	51	137	65	74	48	50	73	34	24	9		565
	9.0	24.2	11.5	13.1	8.5	8.8	12.9	6.0	4.2	1.6		
(2)水痘	196	379	470	520	594	596	560	205	99	39	32	3,690
	5.3	10.3	12.7	14.1	16.1	16.2	15.2	5.5	2.7	1.0	0.9	
(3)ムンプス	24	112	247	367	557	556	525	212	76	25	54	2,755
	0.9	4.1	9.0	13.3	20.2	20.2	19.0	7.7	2.7	0.9	2.0	
(4)突発性発疹	2,377	304	18	7	1		4		1		2	2,714
	87.6	11.2	0.7	0.3	0.03		0.1		0.03		0.1	
(5)百日咳	60	84	47	11	6	5	9	4	3	3	6	238
	25.2	35.3	19.7	4.6	2.5	2.1	3.8	1.7	1.3	1.3	2.5	
(6)インフルエンザ様疾患	206	458	636	776	888	1,185	1,860	1,295	971	724	2,380	11,379
	1.8	4.0	5.6	6.8	7.8	10.4	16.3	11.4	8.5	6.4	20.9	
(7)乳児嘔吐下痢症	1,767	1,856	325	6	2		4	3	1	1		3,965
	44.6	46.8	8.2	0.2	0.1		0.1	0.1	0.03	0.03		
(8)(7)以外の感染性下痢症	250	458	1,030	1,303	1,290	1,092	1,522	1,108	761	537	1,474	10,825
	2.3	4.2	9.5	12.0	11.9	10.1	14.1	10.2	7.0	5.0	13.6	
(9)不明発疹症	83	79	53	41	31	35	58	28	20	14	36	478
	17.4	16.5	11.1	8.6	6.5	7.3	12.1	5.9	4.2	2.9	7.5	
(10)伝染性紅斑	7	8	24	29	32	45	89	51	27	10	2	324
	2.2	2.5	7.4	9.0	9.9	13.9	27.5	15.7	8.3	3.1	0.6	
(11)風疹	131	377	536	789	1,167	1,468	2,412	1,675	738	318	647	10,258
	1.3	3.7	5.2	7.7	11.4	14.3	23.5	16.3	7.2	3.1	6.3	
(12)溶連菌感染症	3	19	79	82	169	181	212	100	54	16	41	956
	0.3	2.0	8.3	8.6	17.7	18.9	22.2	10.4	5.6	1.7	4.3	
(13)手足口病	165	554	469	369	278	187	190	54	31	4	16	2,317
	7.1	23.9	20.3	15.9	12.0	8.1	8.2	2.3	1.3	0.2	0.7	
(14)川崎病	31	30	28	11	11	5	2	1	2	1		122
	25.4	24.6	23.0	9.0	9.0	4.1	1.6	0.8	1.6	0.8		
(15)ヘルパンギーナ	357	699	555	432	304	252	213	93	49	19	39	3,012
	11.9	23.2	18.4	14.3	10.1	8.4	7.1	3.1	1.6	0.6	1.3	
(16)異型肺炎	5	7	11	23	18	14	22	12	5	3	17	137
	3.6	5.1	8.0	16.8	13.1	10.2	16.1	8.8	3.6	2.2	12.4	
(17)咽頭結膜熱	4	17	14	12	23	8	14	2	3	2	5	104
	3.8	16.3	13.5	11.5	22.1	7.7	13.5	1.9	2.9	1.9	4.8	
(18)流行性角結膜炎	20	25	19	7	22	10	25	26	23	23	421	621
	3.2	4.0	3.1	1.1	3.5	1.6	4.0	4.2	3.7	3.7	67.8	
(19)急性出血性結膜炎	2	2	2	4	2	5	18	15	20	17	306	393
	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	1.3	4.6	3.8	5.1	4.3	77.9	
(20)細菌性髄膜炎	4	1	1				1	1			2	10
	40	10	10				10	10			20	
(21)無菌性髄膜炎	7	1	2	2	5	5	4	6	1	4	17	54
	13.0	1.9	3.7	3.7	9.3	9.3	7.4	11.1	1.9	7.4	31.5	
(22)脳・脊髄炎	2						2	3	1		11	19
	10.5						10.5	15.8	5.3		57.9	
(23)その他	2	16	6	8	5	6	4	3	4	3	31	88
	2.3	18.2	6.8	9.1	5.7	6.8	4.5	3.4	4.5	3.4	35.2	

第4図　罹患年令

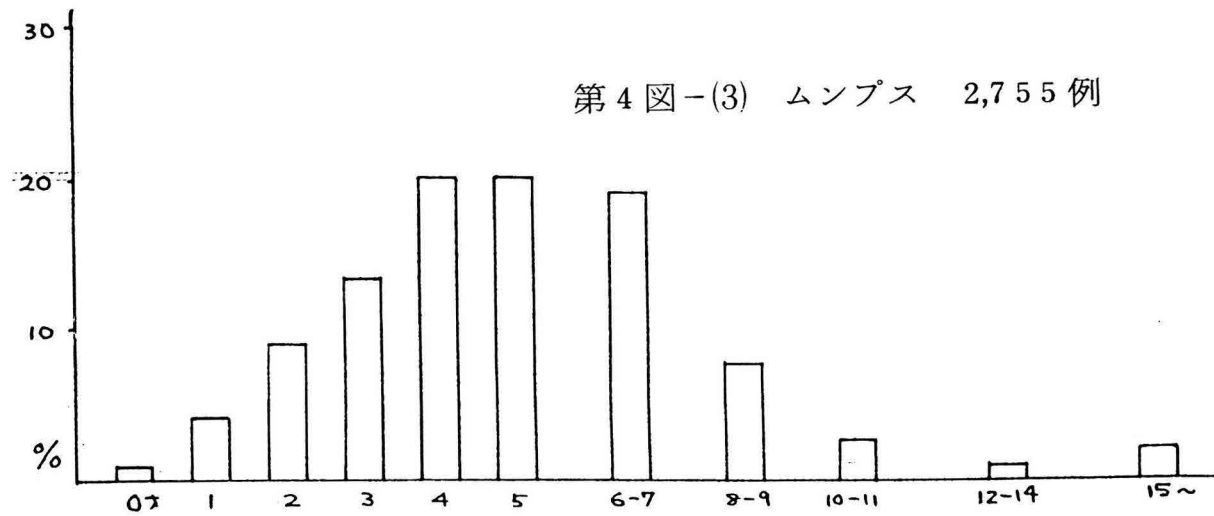
第4図－(1)　麻　疹　565例

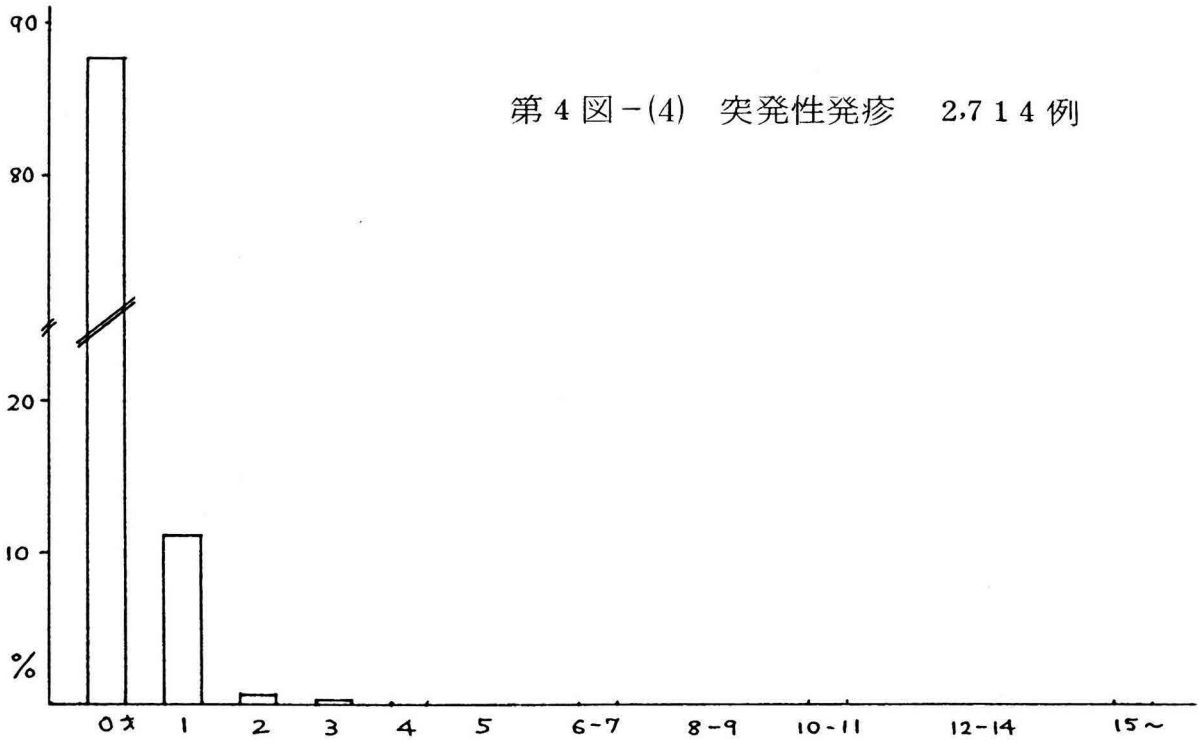


第4図－(2)　水　痘　3,690例

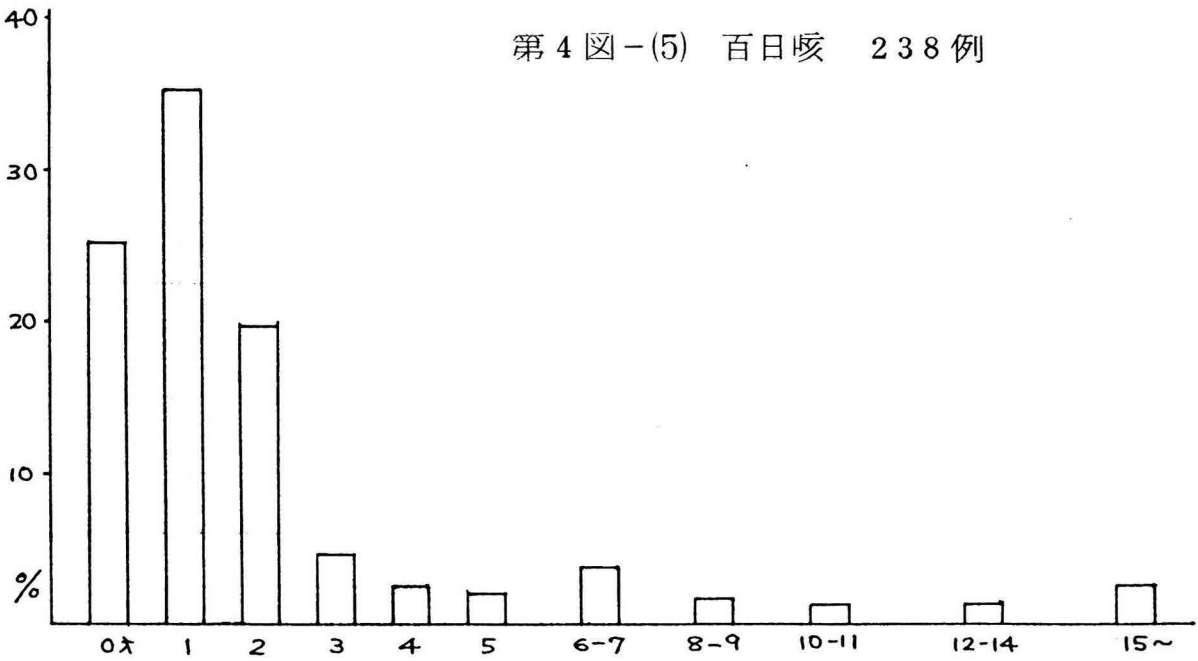


第4図－(3)　ムンプス　2,755例



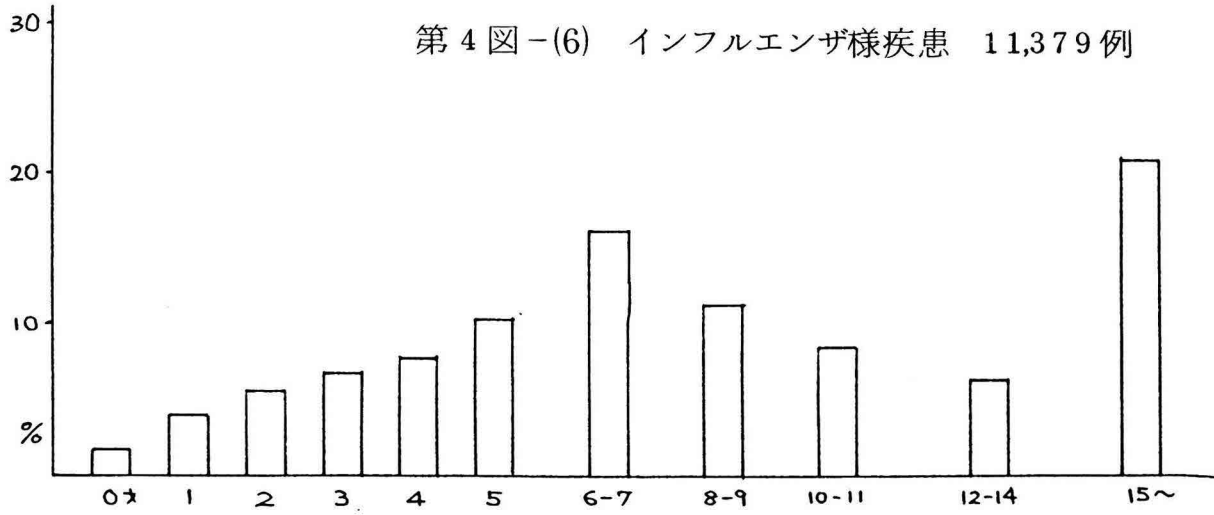


第4図－(4)　突発性発疹　2,714例

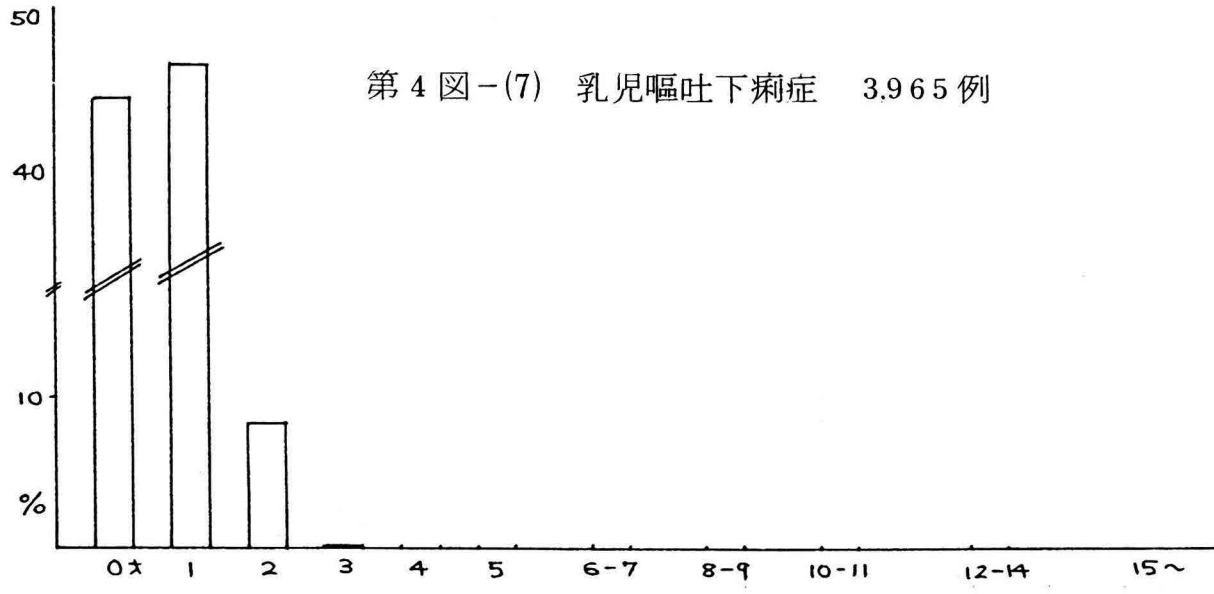


第4図－(5)　百日咳　238例

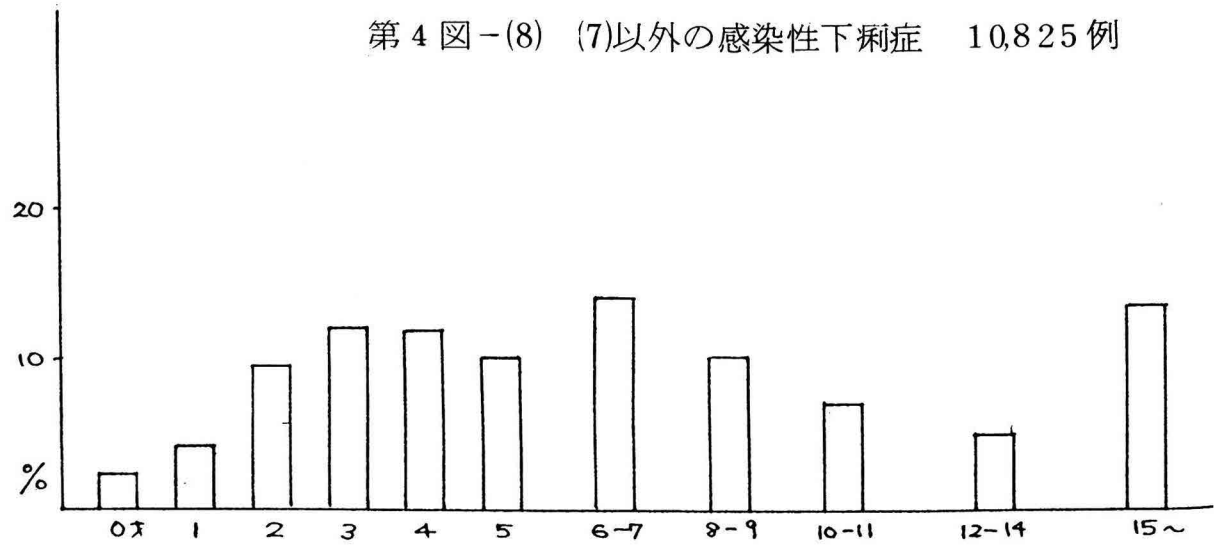
第４図－(6)　インフルエンザ様疾患　11,379例



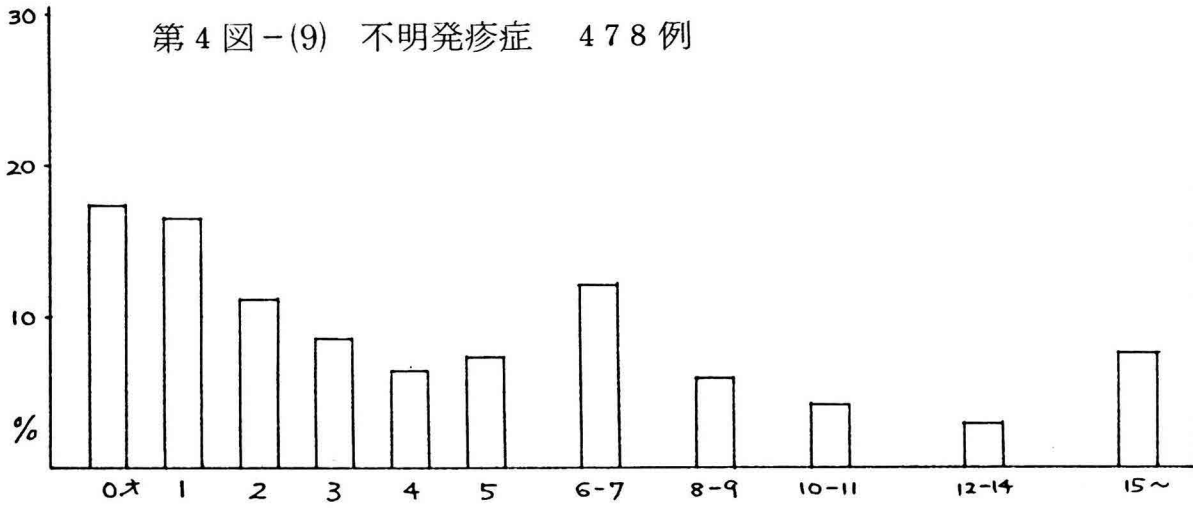
第４図－(7)　乳児嘔吐下痢症　3,965例



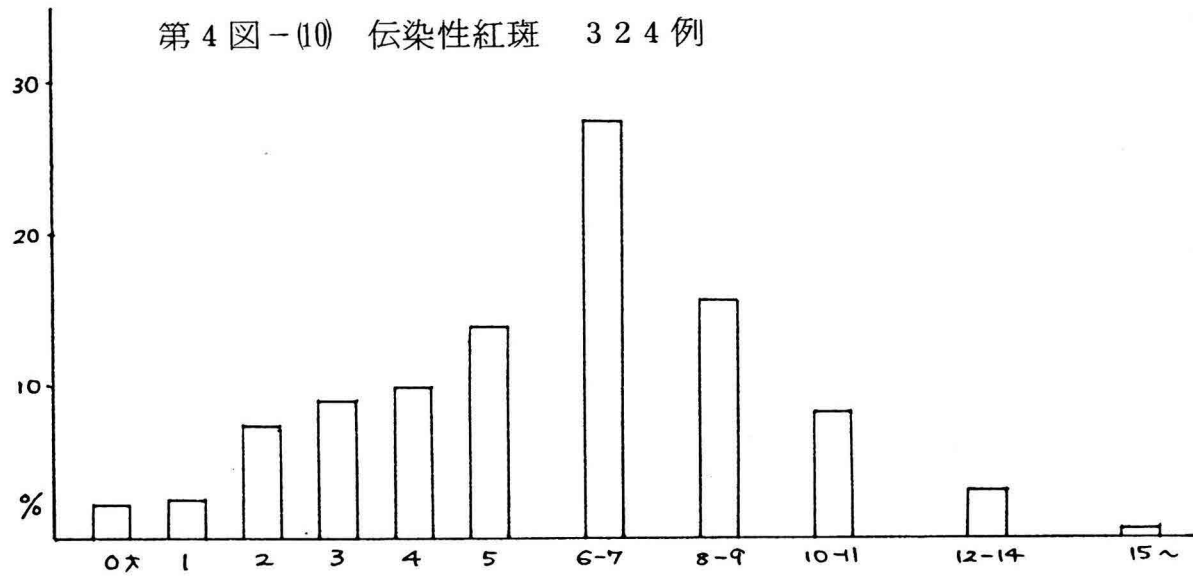
第４図－(8)　(7)以外の感染性下痢症　10,825例



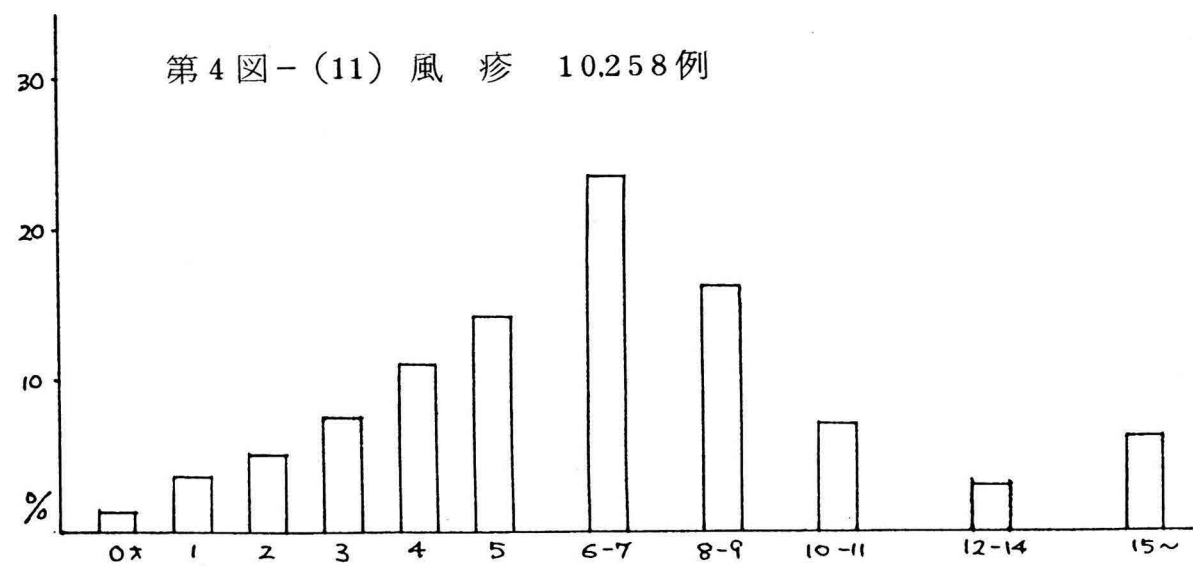
第4図－(9)　不明発疹症　478例



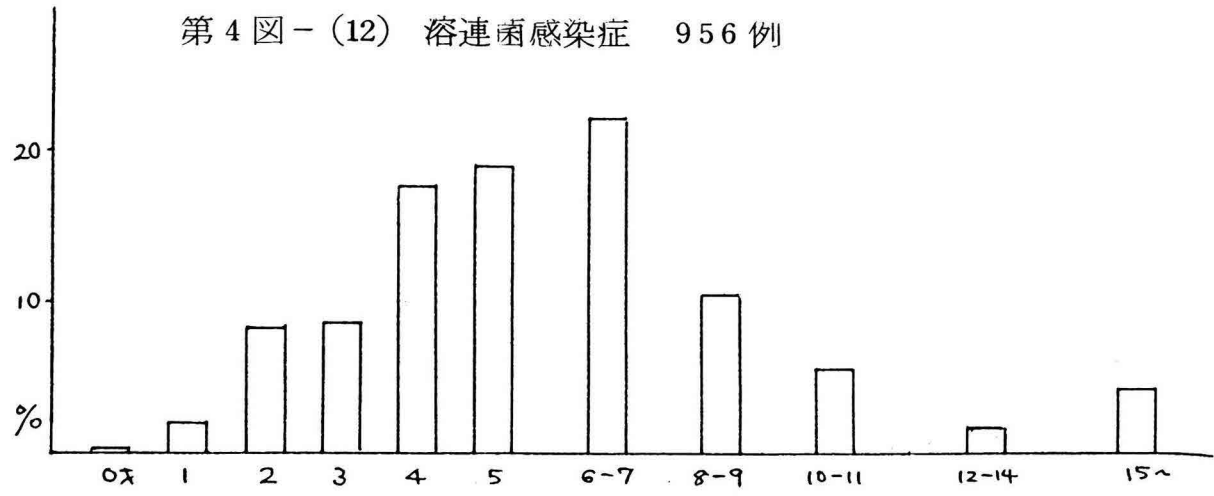
第4図－(10)　伝染性紅斑　324例



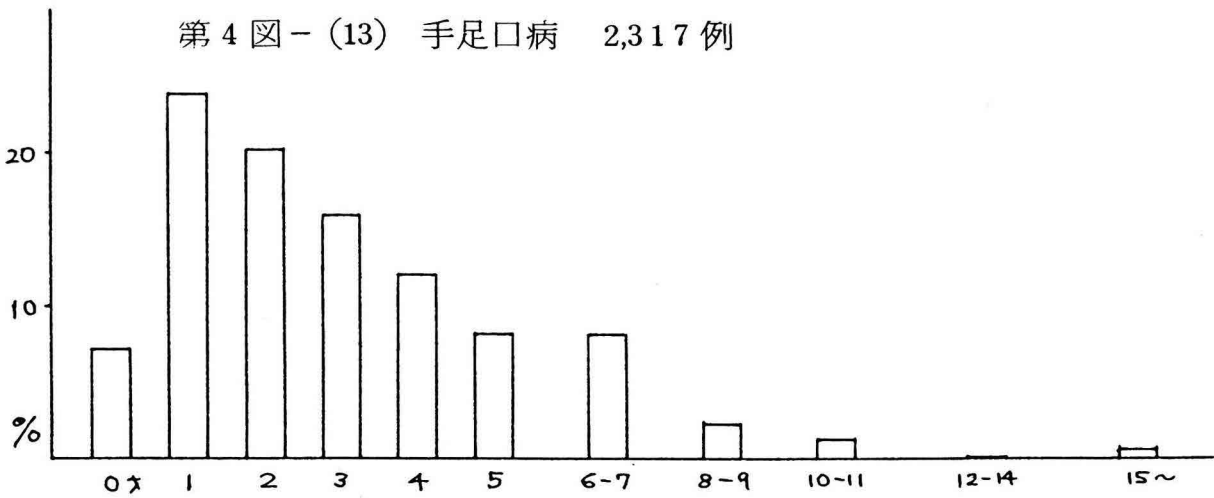
第4図－(11)　風　疹　10,258例



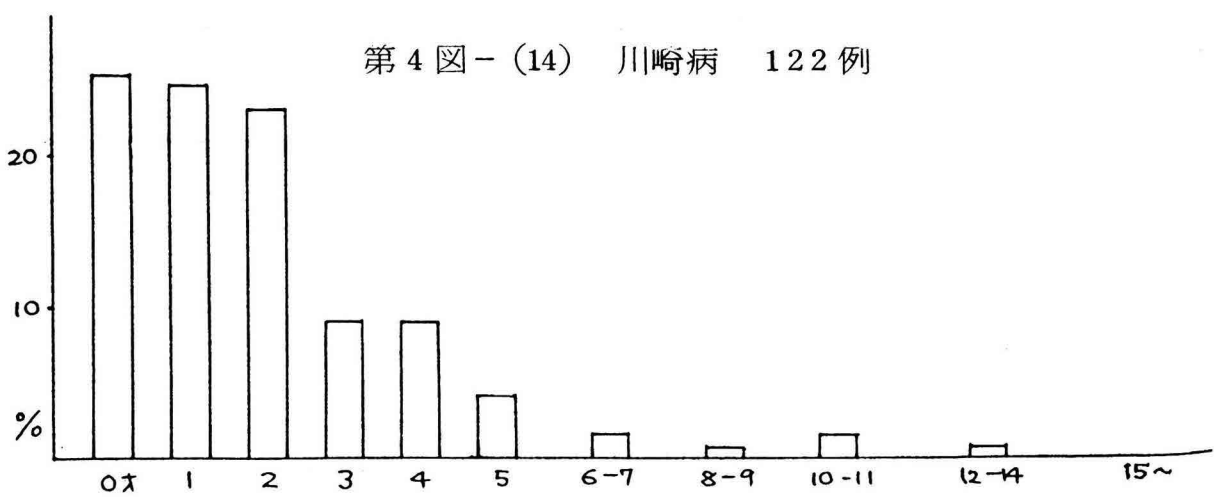
第4図－(12)　溶連菌感染症　956例



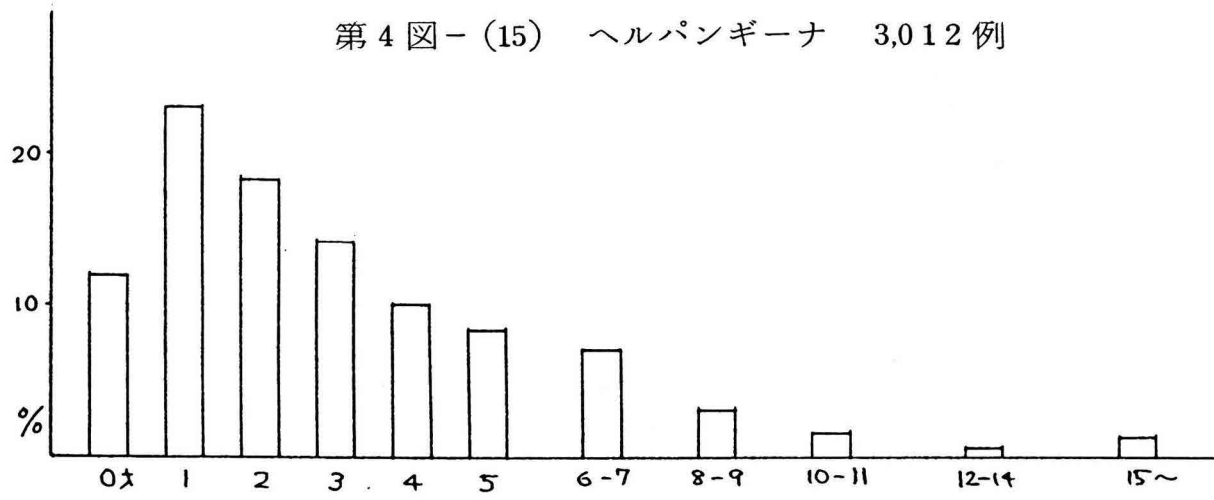
第4図－(13)　手足口病　2,317例



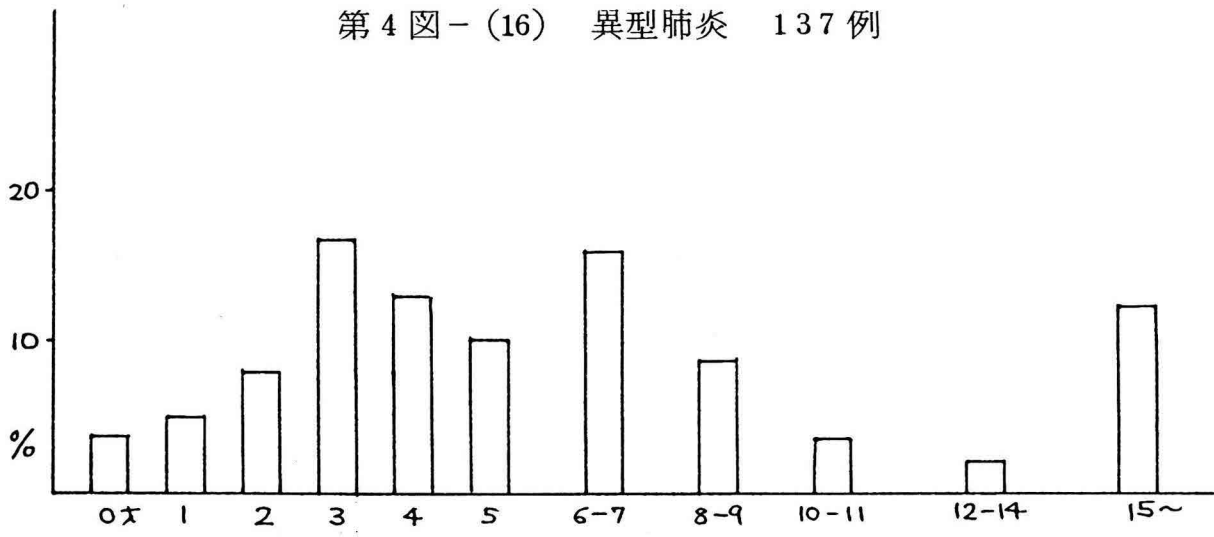
第4図－(14)　川崎病　122例



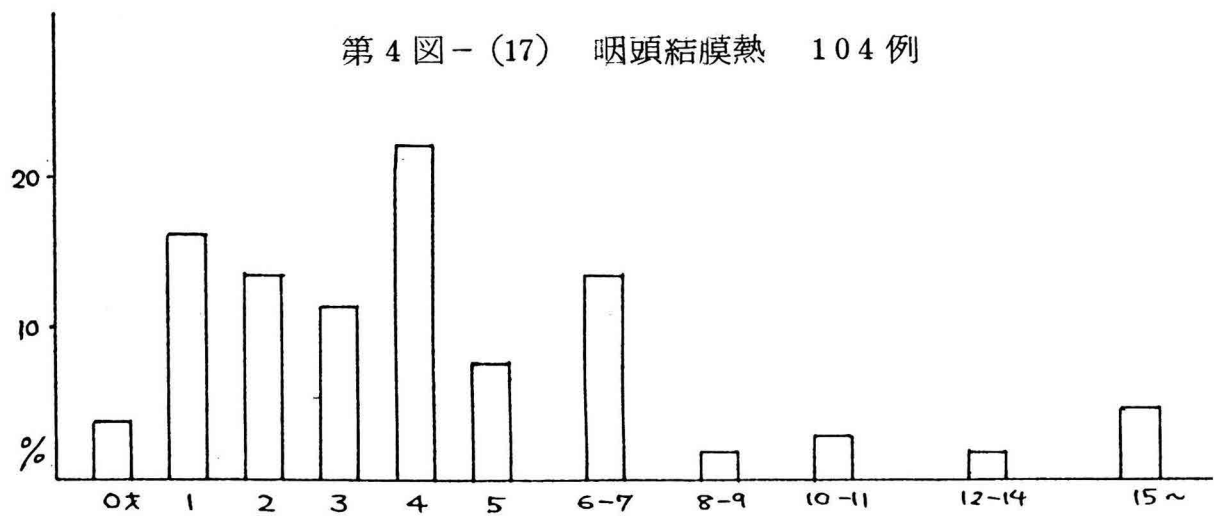
第4図－(15)　ヘルパンギーナ　3,012例



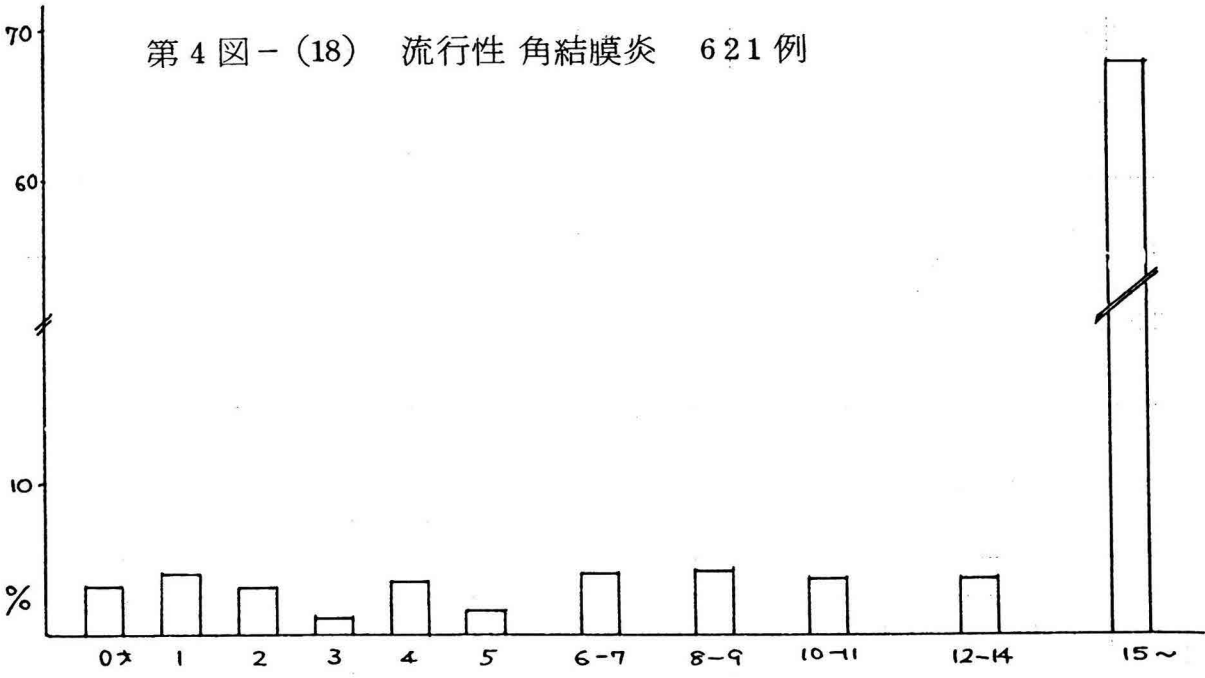
第4図－(16)　異型肺炎　137例



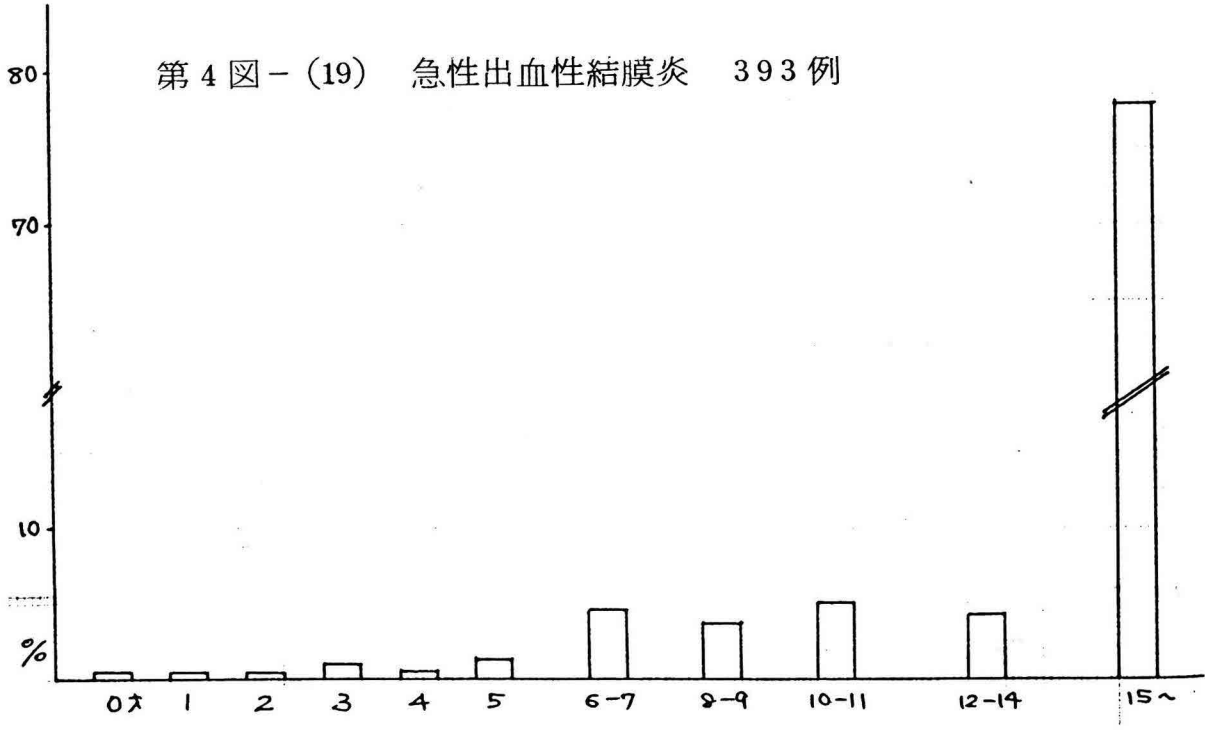
第4図－(17)　咽頭結膜熱　104例

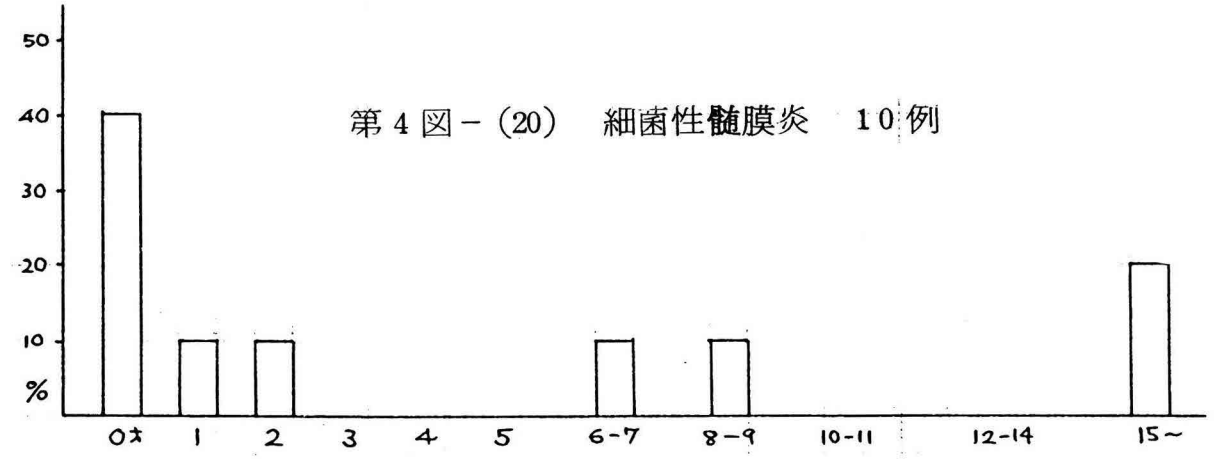


第4図－(18)　流行性 角結膜炎　621例

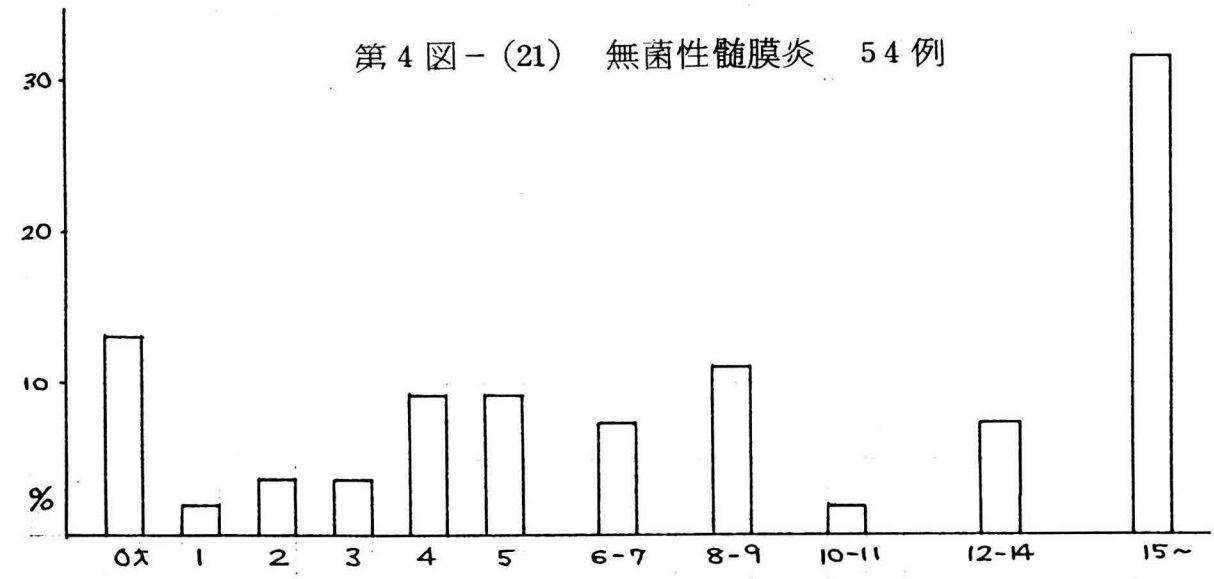


第4図－(19)　急性出血性結膜炎　393例

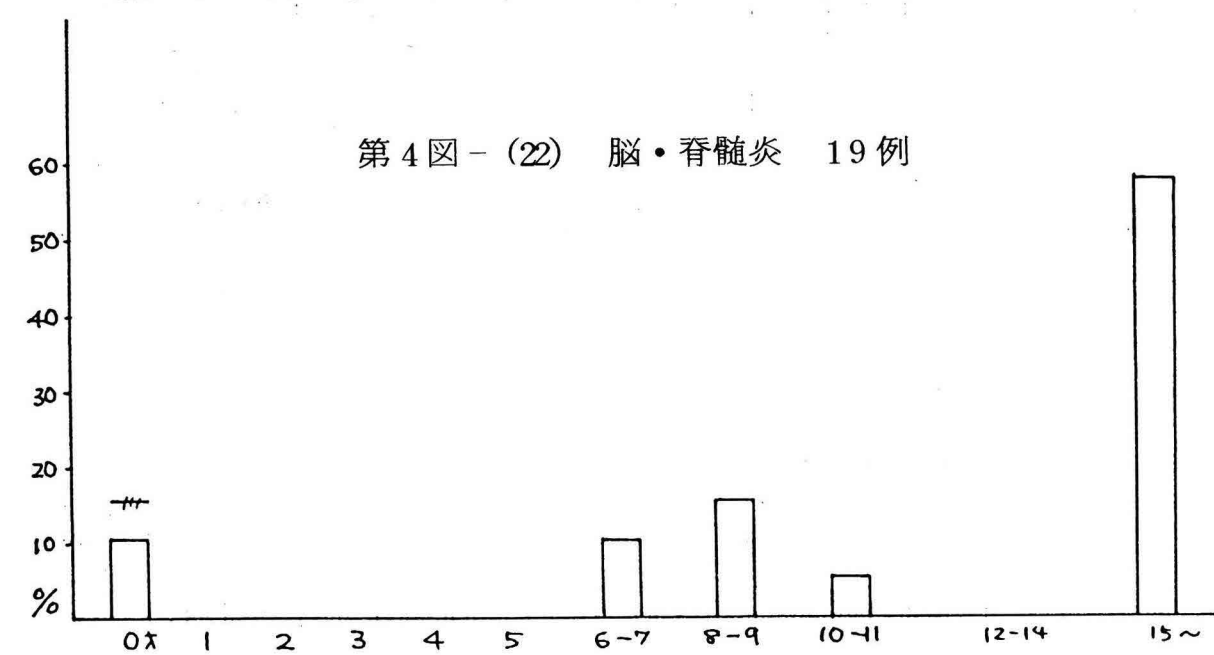




第4図－(20)　細菌性髄膜炎　10例



第4図－(21)　無菌性髄膜炎　54例



第4図－(22)　脳・脊髄炎　19例

第１０表－(1)　昭和５７年小児・感染症の入院状況（１～１２月分）

疾病別＼病院別	都立駒込病院	都立墨東病院	都立荏原病院	都立豊島病院	東京逓信病院	済生会中央病院	計
髄膜炎	9	8	4	18	3	4	46
（麻疹）							
（水痘）				（2）			（2）
（ムンプス）	（8）		（2）	（5）			（15）
（百日咳）							
（風疹）				（1）			（1）
（無菌性）	（1）	（5）	（2）	（8）	（3）	（2）	（21）
（細菌性）		（3）		（2）		（2）	（7）
急性脳・脊髄炎	6		2	2		3	13
（風疹）	（4）		（1）	（1）		（2）	（8）
（麻疹）	（2）		（1）	（1）			（4）
（水痘）						（1）	（1）
肺炎	3		6	2		14	25
（麻疹）	（1）		（2）	（1）		（4）	（8）
（水痘）	（1）					（4）	（5）
（ムンプス）				1		（2）	（3）
（百日咳）	（1）		（4）			（3）	（8）
（風疹）						（1）	（1）
睾丸炎	3						3
（ムンプス）	（3）						（3）
急性腸炎	30		11	15	1	4	61
（サルモネラ）	（10）		（2）	（8）		（3）	（23）
（キャンピロ）	（20）		（9）	（7）	（1）	（1）	（38）
異型肺炎	1	5	2		17		25
川崎病	22	44	31	34	9	14	154
乳児嘔吐下痢症	10	27	16	26	11	14	104
インフルエンザ	5				1	1	7
手足口病			2			2	4
ヘルパンギーナ						1	1
B型肝炎	6		4				10
気管支肺炎	18		2				20
流行性角結膜炎			1				1
計	113	84	81	97	42	57	474

第１０表－(2)　昭和５７年小児・感染症の入院状況（１～１２月分）

都立駒込病院

疾病別＼月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
髄膜炎		2	2	1	1	1		2					9
（麻疹）													
（水痘）													
（ムンプス）		(2)	(2)	(1)	(1)	(1)		(1)					(8)
（百日咳）													
（風疹）													
（無菌性）								(1)					(1)
（細菌性）													
急性脳・脊髄炎		1		1	3	1							6
（風疹）					(3)	(1)							(4)
（麻疹）		(1)		(1)									(2)
肺炎				1								2	3
（麻疹）				(1)									(1)
（水痘）												(1)	(1)
（ムンプス）													
（百日咳）												(1)	(1)
（風疹）													
睾丸炎				3									3
（ムンプス）				(3)									(3)
急性腸炎	2	3	1	1	6	5	4	2	1	1	3	1	30
（サルモネラ）	(2)				(2)	(1)	(1)		(1)		(2)	(1)	(10)
（キャンピロ）		(3)	(1)	(1)	(4)	(4)	(3)	(2)		(1)	(2)		(20)
異型肺炎									1				1
川崎病	1		3	6	8	2	1	1					22
乳児嘔吐下痢症	7	3											10
インフルエンザ		5											5
B型肝炎			1	1			1		2	1			6
気管支肺炎	7		3	2	4	2							18
計	17	14	10	16	22	11	6	5	4	2	3	3	113

第１０表－(3)　昭和５７年小児・感染症の入院状況（１～１２月分）

都立墨東病院

疾病別＼月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
髄膜炎						5		2	1				8
（麻疹）													
（水痘）													
（ムンプス）													
（百日咳）													
（風疹）													
（無菌性）						(2)		(2)	(1)				(5)
（細菌性）						(3)							(3)
急性脳・脊髄炎													
肺炎													
（麻疹）													
（水痘）													
（ムンプス）													
（百日咳）													
（風疹）													
異型肺炎				2			1					2	5
川崎病	7	6	3	10	5	7		3	1	1	1		44
乳児嘔吐下痢症	5	3	3						1	1		14	27
計	12	9	6	12	5	12	1	5	3	2	1	16	84

第１０表－(4)　昭和５７年小児・感染症の入院状況（１～１２月分）

都立荏原病院

疾病別＼月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
髄膜炎		1	1				1					1	4
（麻疹）													
（水痘）													
（ムンプス）			(1)				(1)						(2)
（百日咳）													
（風疹）													
（無菌性）		(1)										(1)	(2)
（細菌性）													
急性脳・脊髄炎				1	1								2
（風疹）					(1)								(1)
（麻疹）				(1)									(1)
肺炎		1	1			1			1	1		1	6
（麻疹）			(1)			(1)							(2)
（水痘）													
（ムンプス）													
（百日咳）		(1)							(1)	(1)		(1)	(4)
（風疹）													
急性腸炎						1	3	2	2	1	2		11
（サルモネラ）								(1)		(1)			(2)
（キャンピロ）						(1)	(3)	(1)	(2)		(2)		(9)
異型肺炎										2			2
川崎病	5	1	5	4	4	1	2	3	1	1	4		31
乳児嘔吐下痢症	2	9	2							1	1	1	16
手足口病							1	1					2
B型肝炎				1		1	1			1			4
気管支肺炎						2							2
流行性角結膜炎									1				1
計	7	12	9	6	5	6	8	6	5	7	7	3	81

表１０表－(5)　昭和５７年小児・感染症の入院状況（１～１２月分）

都立豊島病院

疾病別＼月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
髄膜炎	1	2	2	1	2	1	1	2	2	2		2	18
（麻疹）													
（水痘）		(1)	(1)										(2)
（ムンプス）	(1)		(1)		(1)	(1)	(1)						(5)
（百日咳）													
（風疹）		(1)											(1)
（無菌性）					(1)			(2)	(2)	(2)		(1)	(8)
（細菌性）				(1)								(1)	(2)
急性脳・脊髄炎				1		1							2
（風疹）						(1)							(1)
（麻疹）				(1)									(1)
肺炎	1	1											2
（麻疹）	(1)												(1)
（水痘）													
（ムンプス）		(1)											(1)
（百日咳）													
（風疹）													
急性腸炎	1	2		2	2		2	4		1		1	15
（サルモネラ）		(2)		(1)	(2)		(1)	(2)					(8)
（キャンピロ）	(1)			(1)			(1)	(2)		(1)		(1)	(7)
川崎病	2		6	11	4	3	2	2	1		2	1	34
乳児嘔吐下痢症	2	5	5	2	1				1	1	1	8	26
計	7	10	13	17	9	5	5	8	4	4	3	12	97

第１０表－(6)　昭和５７年小児・感染症の入院状況（１～１２月分）

東京逓信病院

疾病別＼月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
髄膜炎							1				2		3
（麻疹）													
（水痘）													
（ムンプス）													
（百日咳）													
（風疹）													
（無菌性）							(1)				(2)		(3)
（細菌性）													
急性脳・脊髄炎													
肺炎													
（麻疹）													
（水痘）													
（ムンプス）													
（百日咳）													
（風疹）													
急性腸炎		1											1
（サルモネラ）													
（キャンピロ）		(1)											(1)
異型肺炎	4	3	1				2	2		2		3	17
川崎病		3				2		1	1		2		9
乳児嘔吐下痢症	8									2		1	11
インフルエンザ		1											1
計	12	8	1	0	0	2	3	3	1	4	4	4	42

第１０表－(7)　昭和５７年小児・感染症の入院状況（１～１２月分）

済生会中央病院

疾病別＼月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
髄膜炎	1								1	1	1		4
（麻疹）													
（水痘）													
（ムンプス）													
（百日咳）													
（風疹）													
（無菌性）	(1)									(1)			(2)
（細菌性）									(1)		(1)		(2)
急性脳・脊髄炎			2	1									3
（風疹）			(1)	(1)									(2)
（水痘）			(1)										(1)
肺炎	1	1	1	2	2	2	1	2				2	14
（麻疹）		(1)	(1)	(1)	(1)								(4)
（水痘）	(1)			(1)				(1)				(1)	(4)
（ムンプス）						(1)		(1)					(2)
（百日咳）						(1)	(1)					(1)	(3)
（風疹）					(1)								(1)
急性腸炎						1	1		1	1			4
（サルモネラ）						(1)	(1)			(1)			(3)
（キャンピロ）									(1)				(1)
川崎病	3	1	1	1	3	1	1	1	1			1	14
乳児嘔吐下痢症	4	2	2						1		2	3	14
インフルエンザ		1											1
手足口病							1	1					2
ヘルパンギーナ							1						1
計	9	5	6	4	5	4	5	4	4	2	3	6	57

第11表　〔57年1月～12月分〕東京都感染症定点観測調査の検査定点採取検体の検査結果

（58. 3. 24現在）

採取年月	採取検体材料		検査結果				臨床診断名
1（6件）	髄液	5件	ウイルス分離（－）	5件			
	眼結膜ぬぐい液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
2（24件）	髄液	6件	ウイルス分離（－）	6件			
	鼻咽頭ぬぐい液	2件	ウイルス分離（－）	2件			
	眼結膜ぬぐい液	15件	ウイルス分離（－）	13件	アデノウイルス3型 アデノウイルス5型	1件 1件	流行性角結膜炎 咽頭結膜熱
	ふん便	1件	ウイルス分離（－）	1件			
3（15件）	髄液	6件	ウイルス分離（－） 検体破損	5件 1件			
	眼結膜ぬぐい液	9件	ウイルス分離（－）	6件	エンテロウイルス70 アデノウイルス3型	2件 1件	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎
4（13件）	髄液	4件	ウイルス分離（－）	4件			
	眼結膜ぬぐい液	8件	ウイルス分離（－）	6件	エンテロウイルス70	2件	急性出血性結膜炎
	咽頭うがい液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
5（20件）	髄液	4件	ウイルス分離（－）	4件			
	鼻咽頭ぬぐい液	2件	ウイルス分離（－）	2件			
	眼結膜ぬぐい液	4件	ウイルス分離（－）	4件			
	ふん便	3件	ウイルス分離（－）	3件			
	咽頭うがい液	2件	ウイルス分離（－）	2件			
	胸腺	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	腎	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	肺	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	眼球	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	水疱内容	1件	ウイルス分離（－）	1件			
6	脳液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	髄液	4件	ウイルス分離（－）	4件			
	眼結膜ぬぐい液	9件	ウイルス分離（－）	7件	エンテロウイルス70	2件	流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎
	肝	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	腎	1件	ウイルス分離（－）	1件			

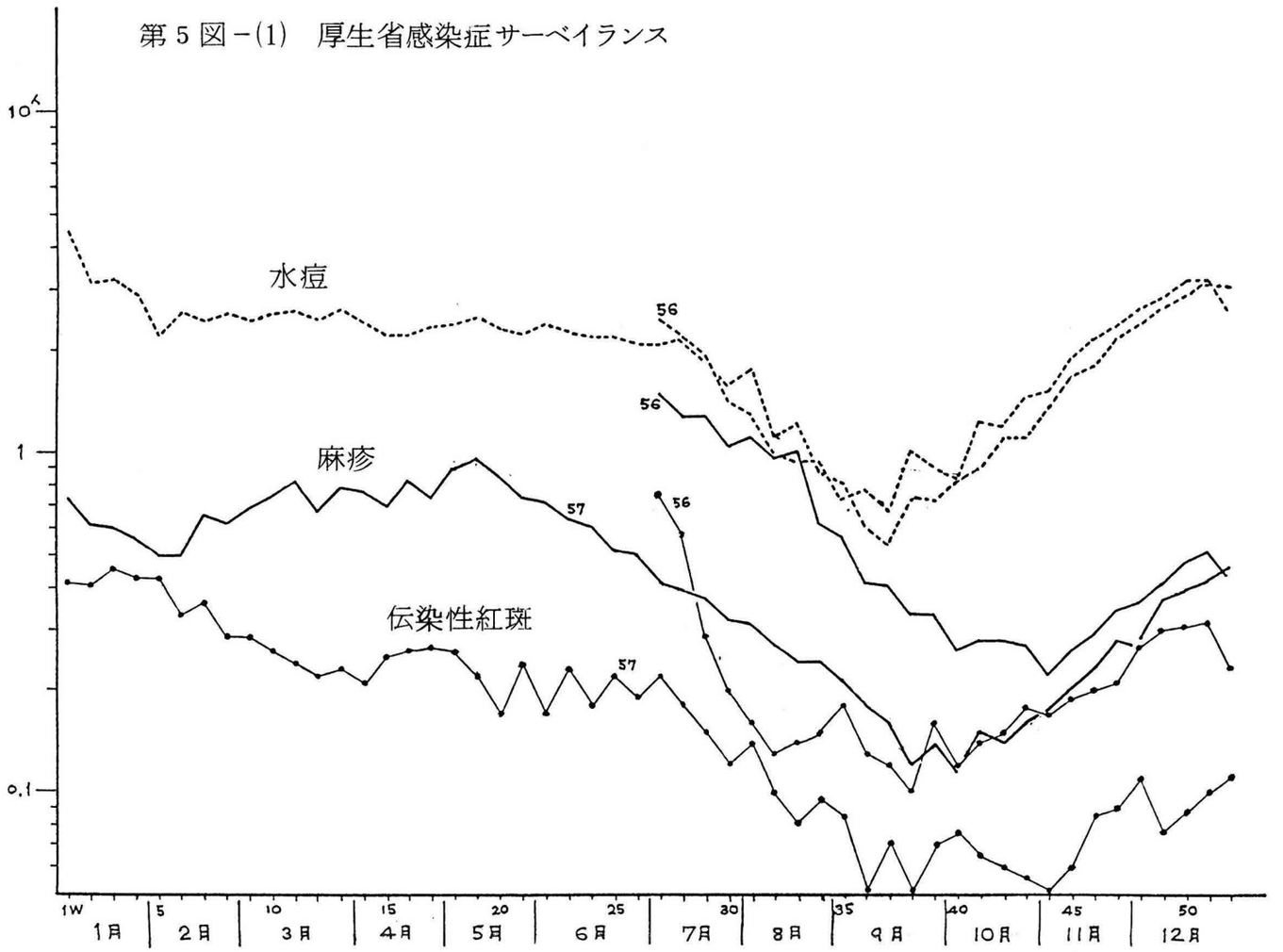
〔57年1月～12月〕東京都感染症定点観測調査の検査定点採取検体の検査結果

採取年月	採取検体材料		検査結果				臨床診断名
6（21件）	肺	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	ふん便	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	鼻咽頭ぬぐい液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	眼脂	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	血液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
7（22件）	髄液	2件	ウイルス分離（－）	2件			
	眼結膜ぬぐい液	14件	ウイルス分離（－）	11件	エンテロウイルス70 アデノウイルス4型	2件 1件	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
	鼻咽頭ぬぐい液	2件	ウイルス分離（－）	1件	コクサッキーB群3型	1件	無菌性髄膜炎
	ふん便	2件	ウイルス分離（－）	1件	〃	1件	無菌性髄膜炎
	血液	2件	ウイルス分離（－）	2件			
8（43件）	髄液	3件	ウイルス分離（－）	3件			
	眼結膜ぬぐい液	37件	ウイルス分離（－）	27件	アデノウイルス（型不明） アデノウイルス2型 アデノウイルス3型 アデノウイルス5型 アデノウイルス8型 エンテロウイルス70	1件 2件 2件 2件 2件 1件	流行性角結膜炎 流行性角結膜炎 流行性角結膜炎 咽頭結膜熱 流行性角結膜炎 流行性角結膜炎 流行性角結膜炎
	鼻咽頭ぬぐい液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	ふん便	2件	ウイルス分離（－）	1件	コクサッキーB群3型	1件	無菌性髄膜炎
9（4件）	眼結膜ぬぐい液	4件	ウイルス分離（－）	2件	アデノウイルス6型 エンテロウイルス70	1件 1件	流行性角結膜炎 流行性角結膜炎
10（17件）	髄液	3件	ウイルス分離（－）	3件			
	眼結膜ぬぐい液	4件	ウイルス分離（－）	4件			
	水疱内容	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	鼻咽頭ぬぐい液	3件	ウイルス分離（－）	2件			
	ふん便	3件	ウイルス分離（－）	2件	エコーウイルス11型	1件	無菌性髄膜炎
	血液	3件	ウイルス分離（－）	3件			
11（13件）	髄液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	眼結膜ぬぐい液	9件	ウイルス分離（－）	4件	アデノウイルス3型	1件	流行性角結膜炎
	鼻咽頭ぬぐい液	1件	ウイルス分離（－）	1件			
	ふん便	2件	ウイルス分離（－）	2件			

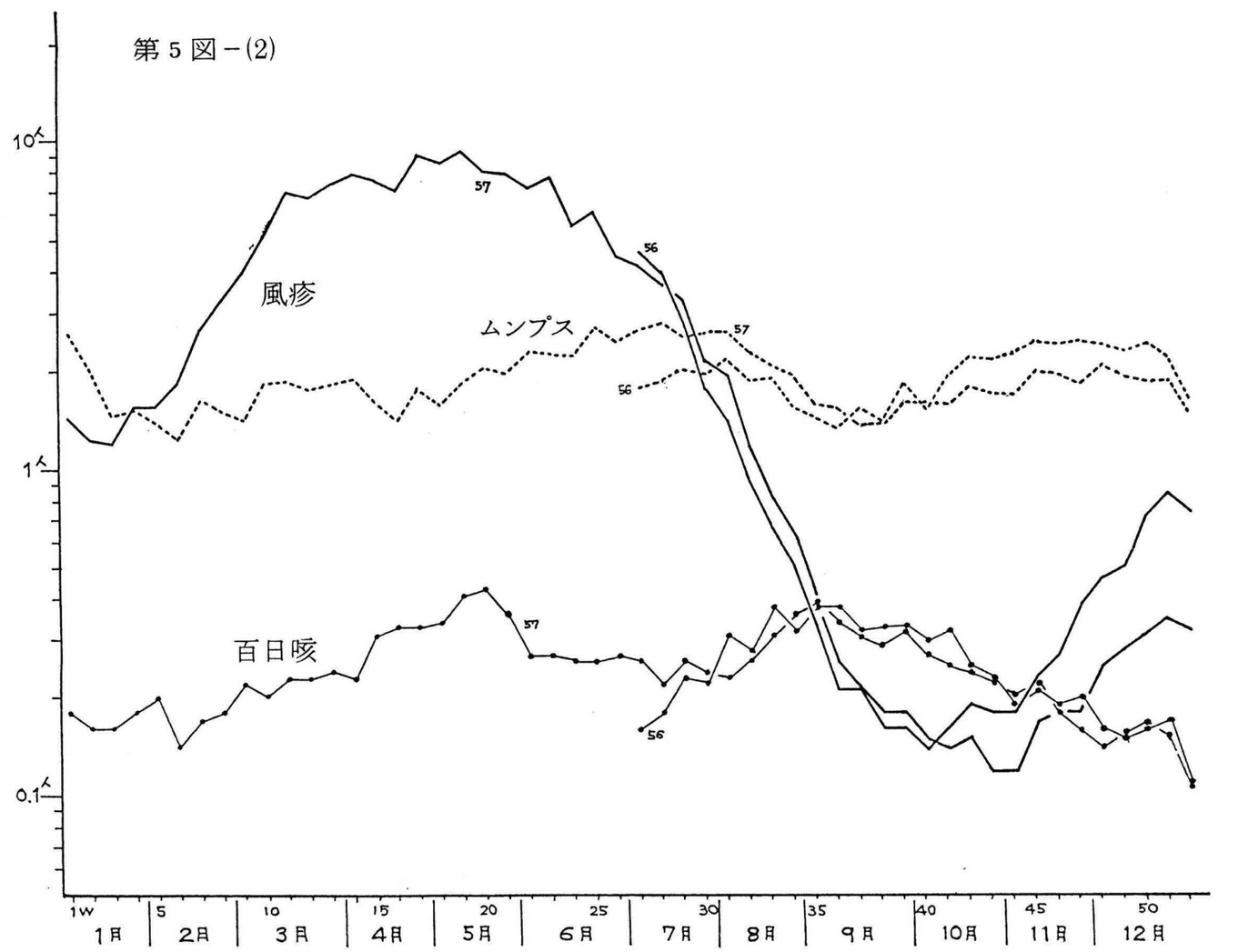
〔57年1月～12月分〕東京都感染症定点観測調査の検査定点採取検体の検査結果

採取年月	採取検体材料		検査結果				臨床診断名
	髄液	1件					
	眼結膜ぬぐい液	3件	ウイルス分離(−)	3件			
	鼻咽頭ぬぐい液	5件	ウイルス分離(−)	5件			
	ふん便	3件	ウイルス分離(−)	3件			
12(14件)	血液	2件	ウイルス分離(−)	2件			

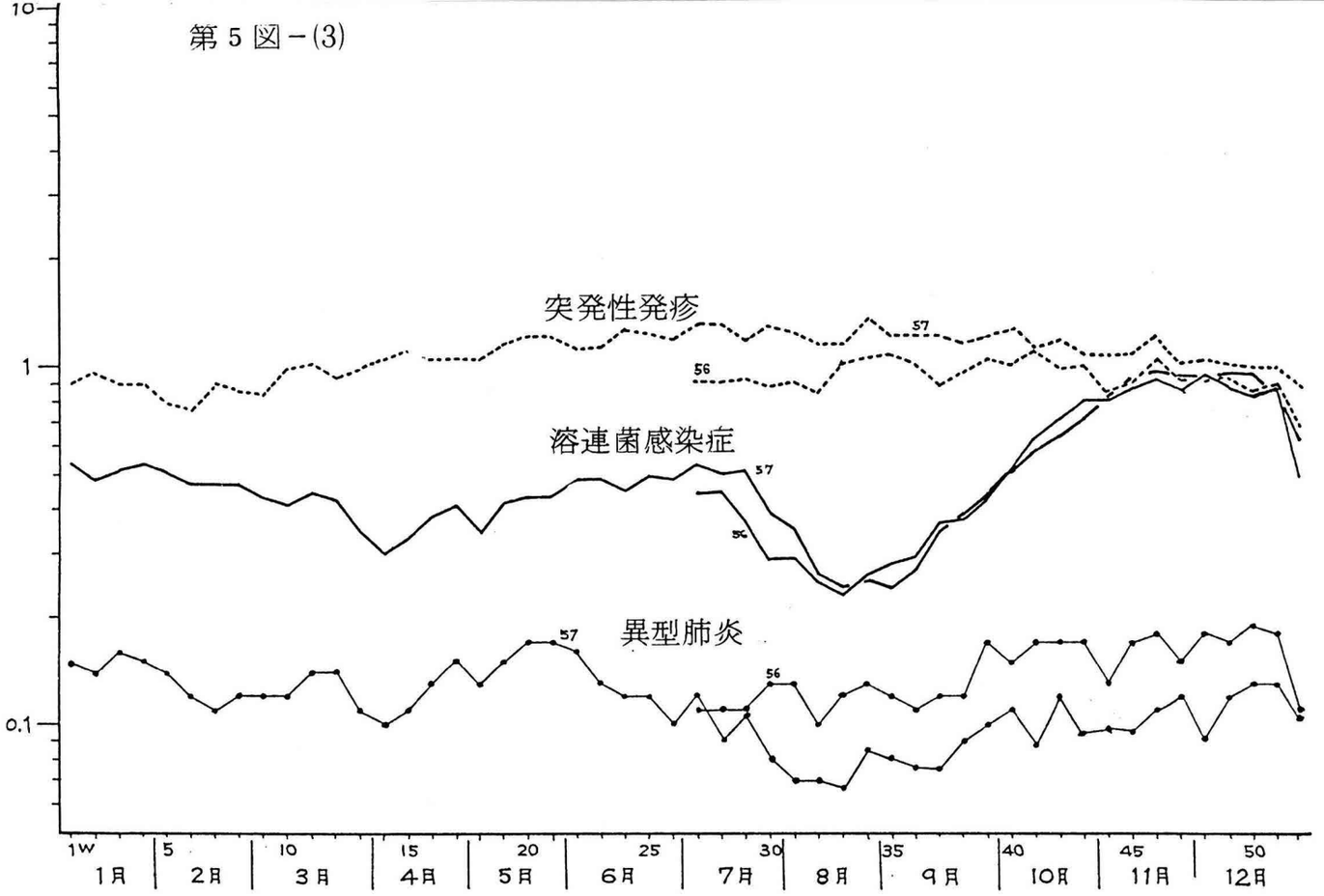
第５図－(1)　厚生省感染症サーベイランス



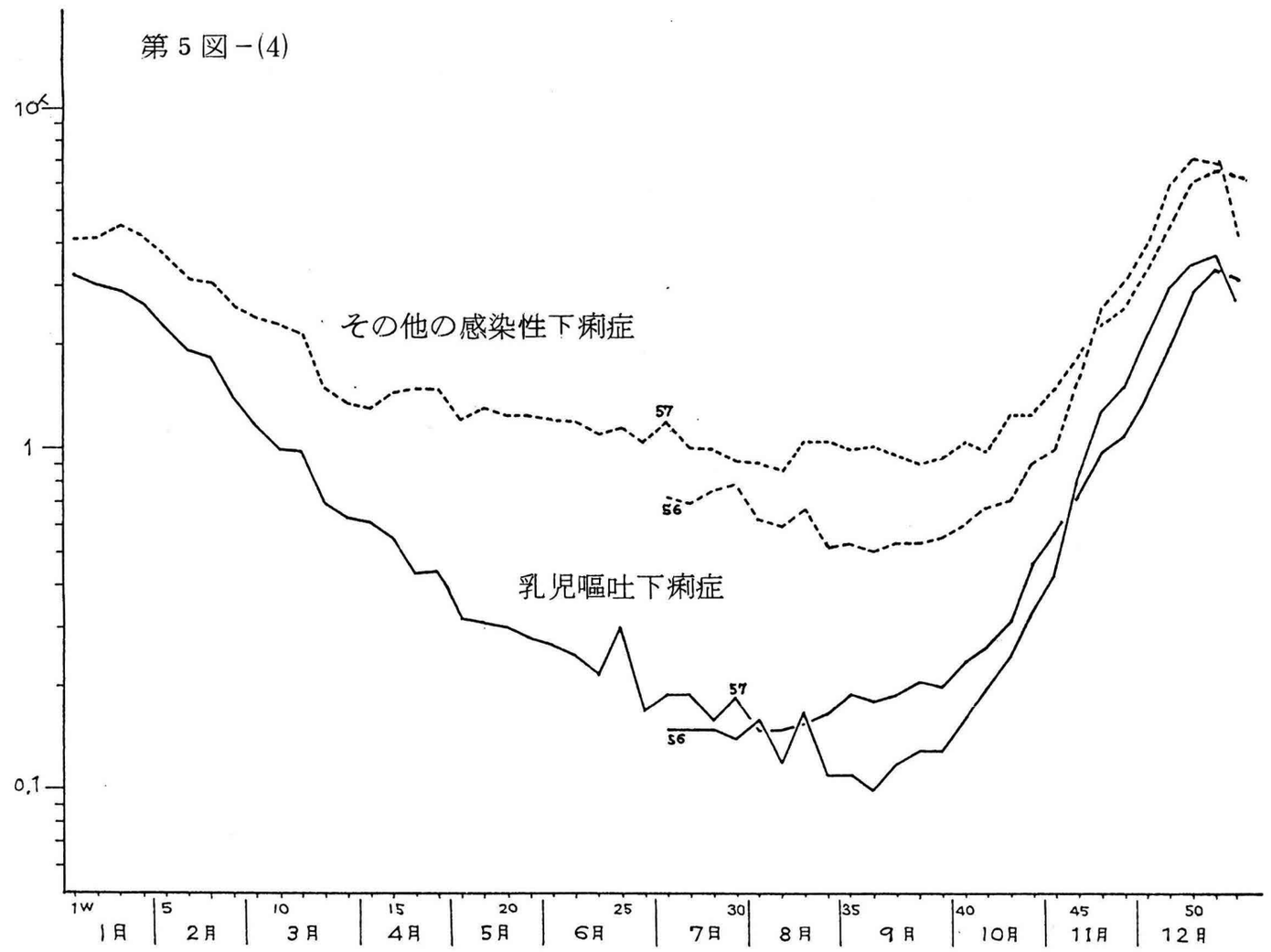
第５図－(2)



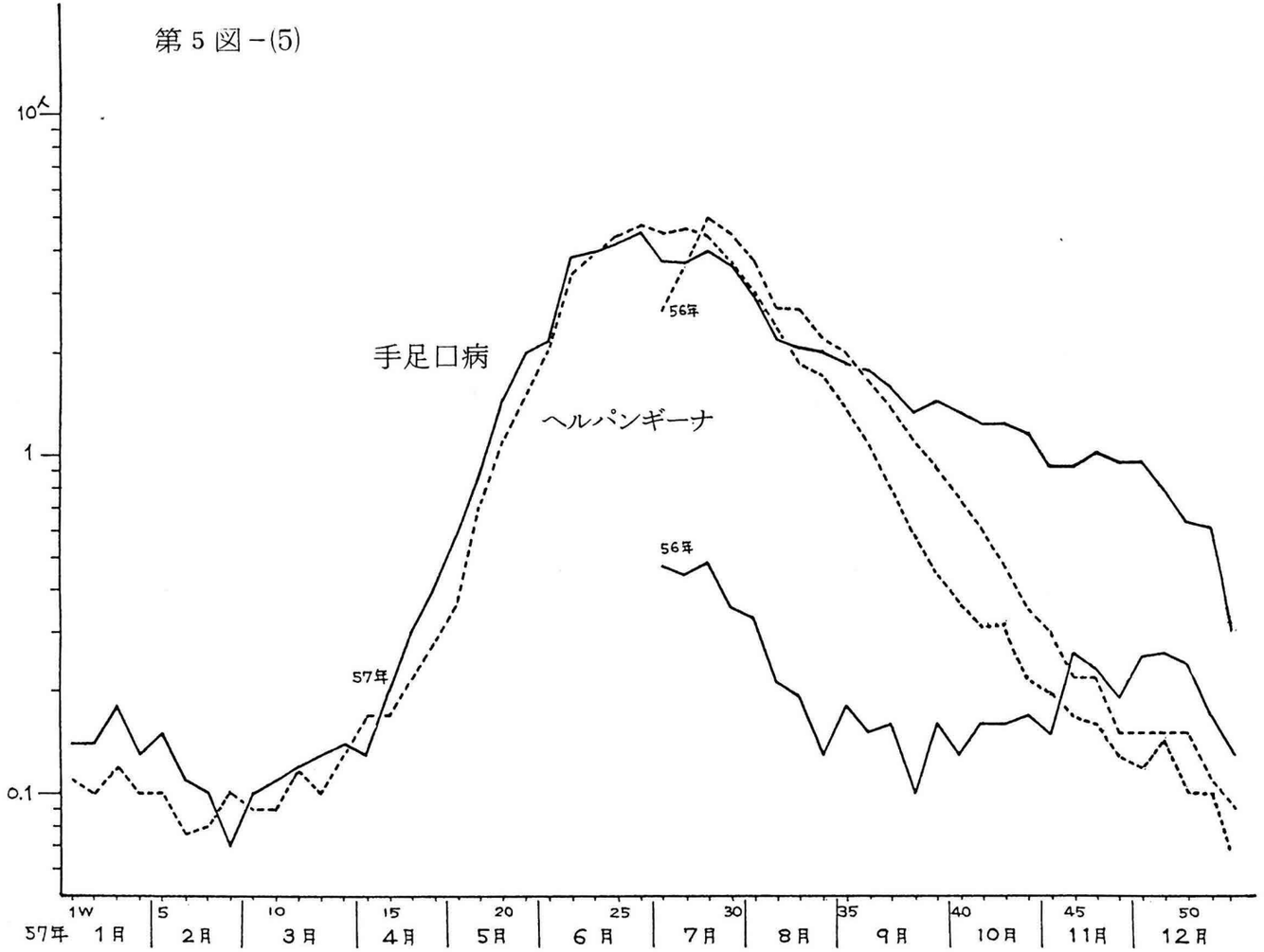
第5図－(3)


10
1
0.1
突発性発疹
57
56
溶連菌感染症
57
56
異型肺炎
57
56
1W
5
10
15
20
25
30
35
40
45
50
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

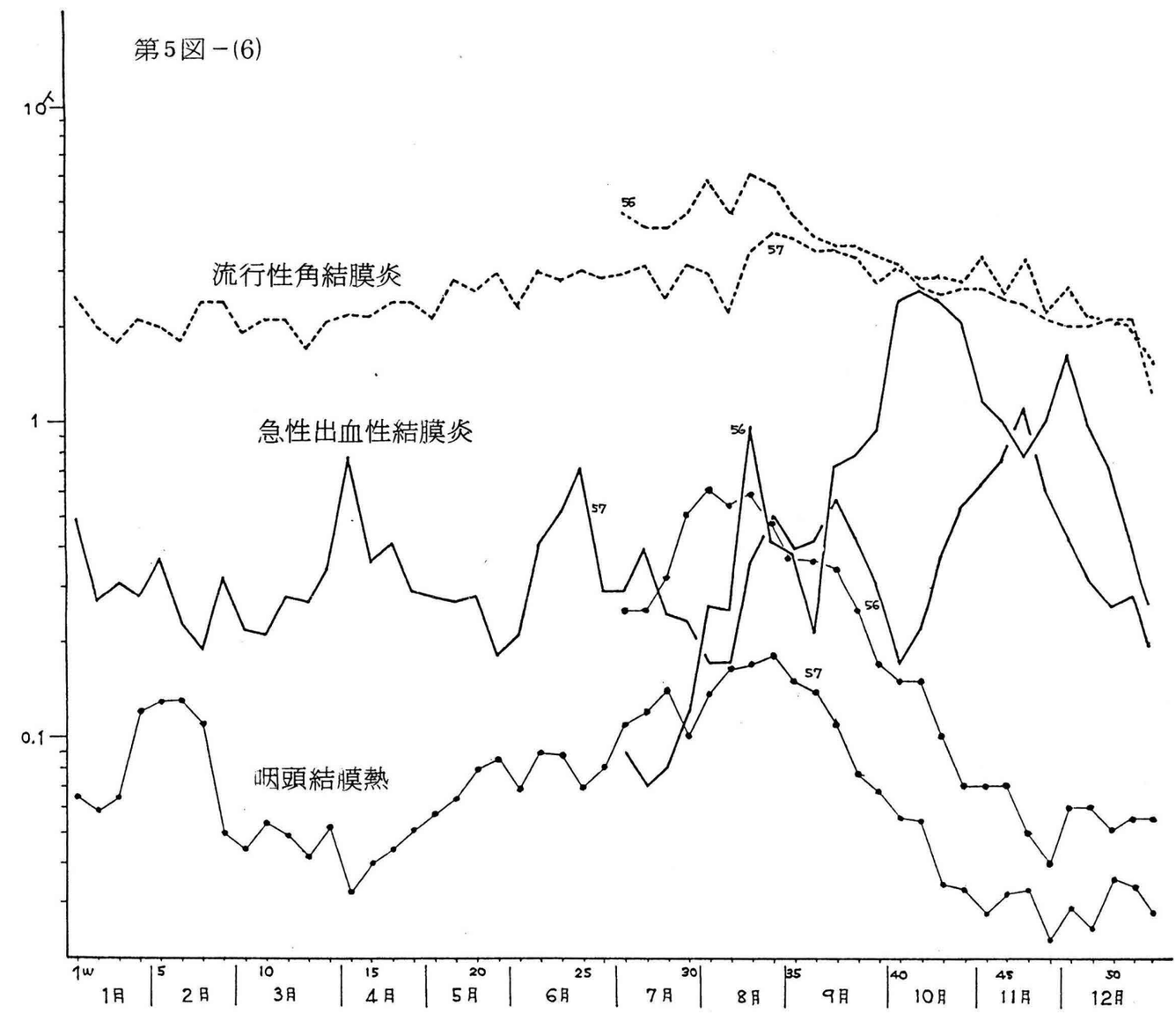
第5図－(4)


10
1
0.1
その他の感染性下痢症
57
56
乳児嘔吐下痢症
57
56
1W
5
10
15
20
25
30
35
40
45
50
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

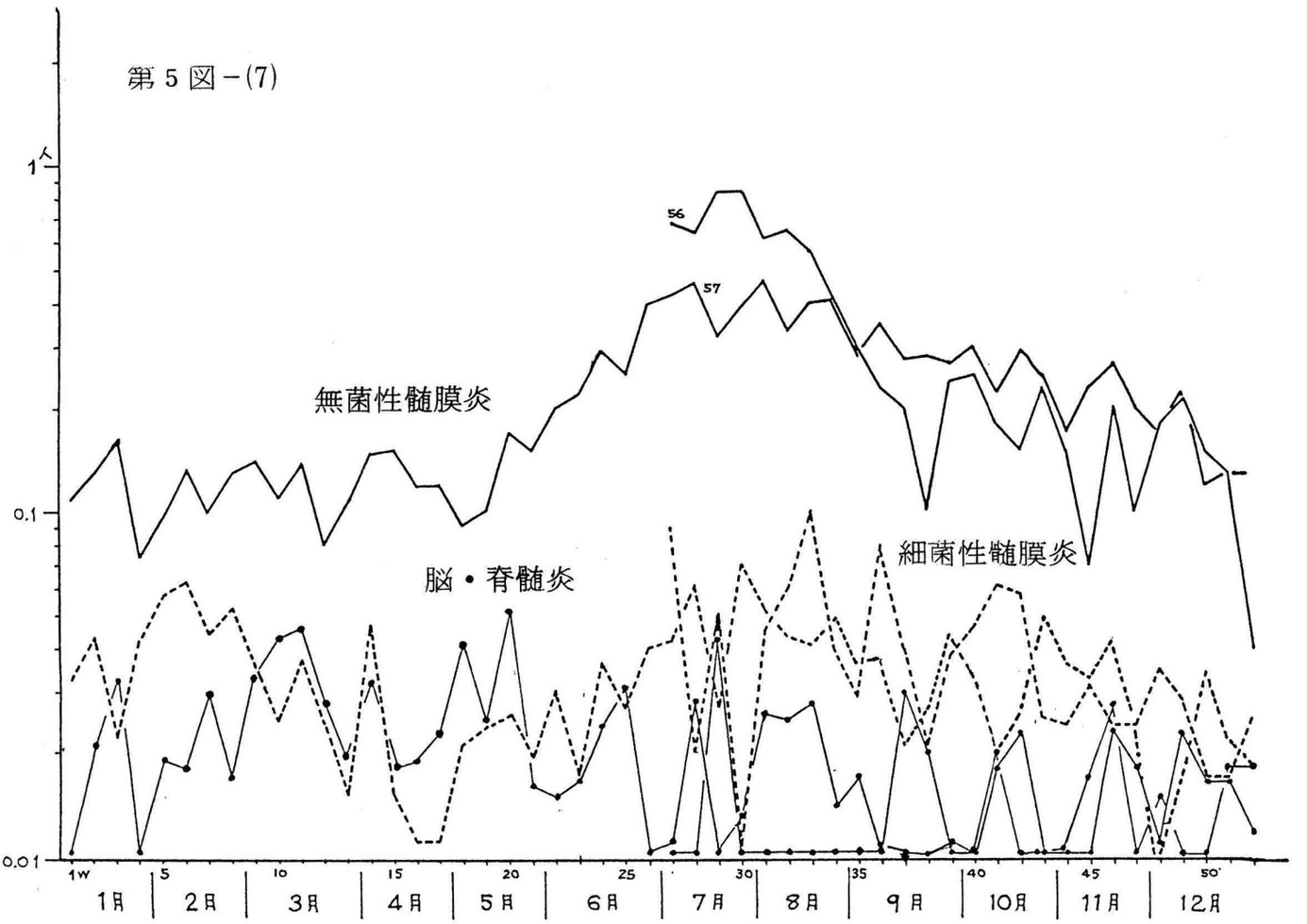
第5図－(5)


10
1
0.1
手足口病
ヘルパンギーナ
56年
57年
56年
1W
5
10
15
20
25
30
35
40
45
50
57年 1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

第5図－(6)


10
1
0.1
流行性角結膜炎
急性出血性結膜炎
咽頭結膜熱
56
57
56
57
56
57
1W
5
10
15
20
25
30
35
40
45
50
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

第5図－(7)



3110140522